

平成26年度 野鳥モーターによる 足立区野鳥調査報告書



表紙写真提供 鈴木 操 氏 圀川遊歩道にて撮影

足立区では、平成4年度から野鳥モニターの皆様のご協力のもと、区内で野鳥の生息調査を行っております。

平成26年度は、38人の野鳥モニターが区内40地域で調査を行い、73種、延べ37,192羽の野鳥を確認しました。

大きな変化は見られませんが、ゆるやかに減少が続けている種もいくつかあるように感じております。

区は、一定の方法で調査を長く続けていくことで、野鳥を通して環境の変遷を感じ、私たちが身の回りの環境とどう関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと思っています。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

平成27年8月 足立区環境部環境政策課

～ 目 次 ～

I	調査概要	1
II	調査結果	
1	年間確認数と個体数	4
2	区内で繁殖行動が確認された野鳥	6
3	調査月別確認種数と確認個体数	7
4	確認個体数ベスト 10 及び経年変化	8
III	平成 26 年度野鳥モニターによる観察・繁殖行動記録	13
	資料編	47
資料 1	平成 26 年度野鳥モニター名簿・担当地域	48
資料 2	調査月別確認種と個体数	50
資料 3	ブロック別確認種と個体数	52
資料 4 ～ 9	各調査月に確認された野鳥	54
資料 1 0	年度別確認種及び個体数一覧	60
資料 1 1	平成 26 年度野鳥モニター活動記録	66

I 調査概要

1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。調査結果は広報等を通じて区民に公開することにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

2 調査期間

平成26年5月1日～平成27年3月31日

3 調査方法

(1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩き（時速2km程度）ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

(2) 調査人数

野鳥モニター38名による。

(3) 調査項目

種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

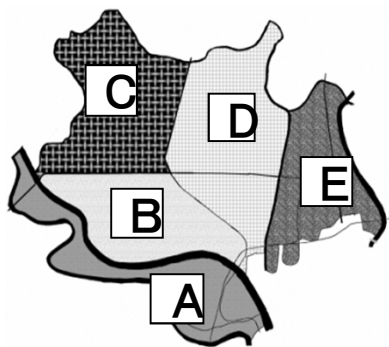
(4) 調査日時

毎奇数月で各モニターが任意に選んだ1日のうち、午前6時から午前10時までの間の2時間程度（調査回数は各地域とも年6回）。

4 調査地域

野鳥モニターの居住地周辺で、野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷について、A～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定した。

ブロック	番号	地域
A	1	小台全域（河川敷含む）
	2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
	3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町、千住橋戸町
	4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
	5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町、千住橋戸町、千住宮元町
	6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
	7	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
	8	宮城全域（河川敷含む）
	9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B	10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
	11	興野二丁目、扇三丁目
	12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
	13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
	14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
	15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
	16	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
	17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



【調査地域】

Aブロック	9地域
Bブロック	8地域
Cブロック	5地域
Dブロック	8地域
Eブロック	10地域

ブロック	番号	地域
C	18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
	19	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
	20	舎人公園
	21	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
	22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
D	23	梅島一～三丁目
	24	花畑七・八丁目（綾瀬川右岸）
	25	島根全域
	26	西綾瀬全域
	27	西保木間一～三丁目
	28	花畑三～五丁目
	29	保木間一～三丁目
	30	保木間四～五丁目
E	31	大谷田一丁目
	32	大谷田二（中川含む）～五丁目
	33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
	34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
	35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
	36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（堀川、中川含む）
	37	神明南一・二丁目、北加平町
	38	東和全域・谷中公園
	39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
	40	東綾瀬公園

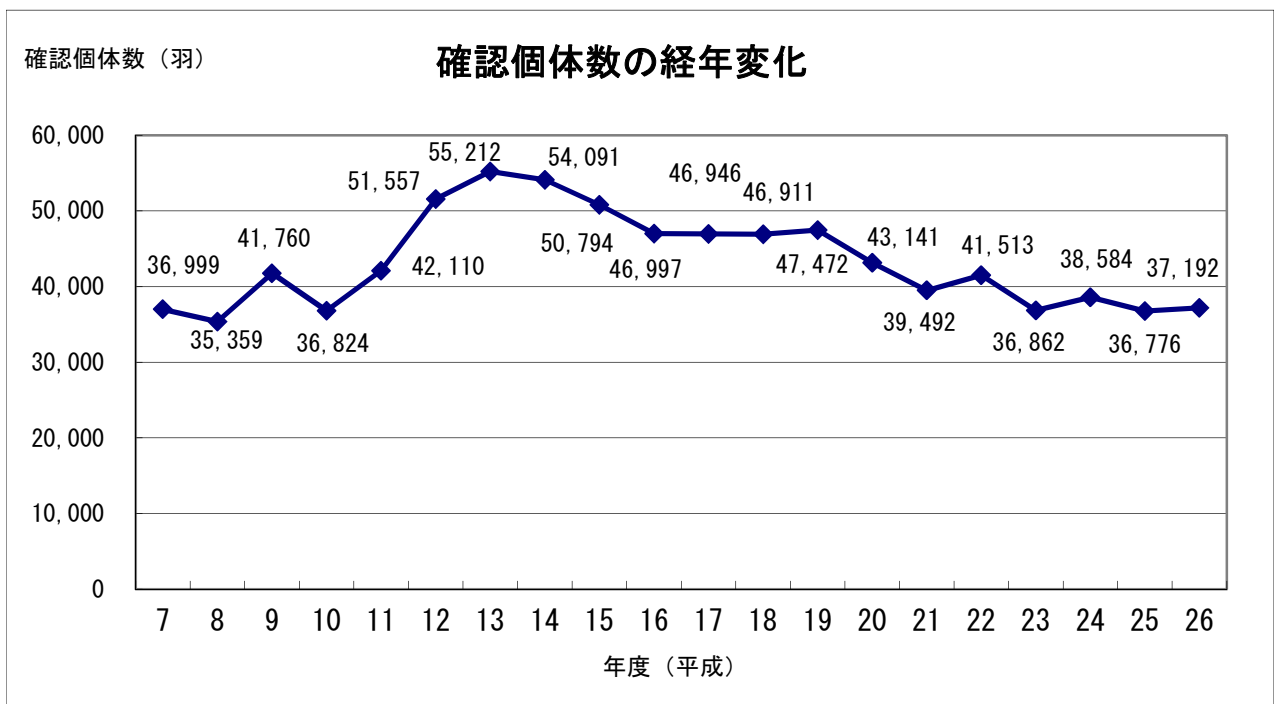
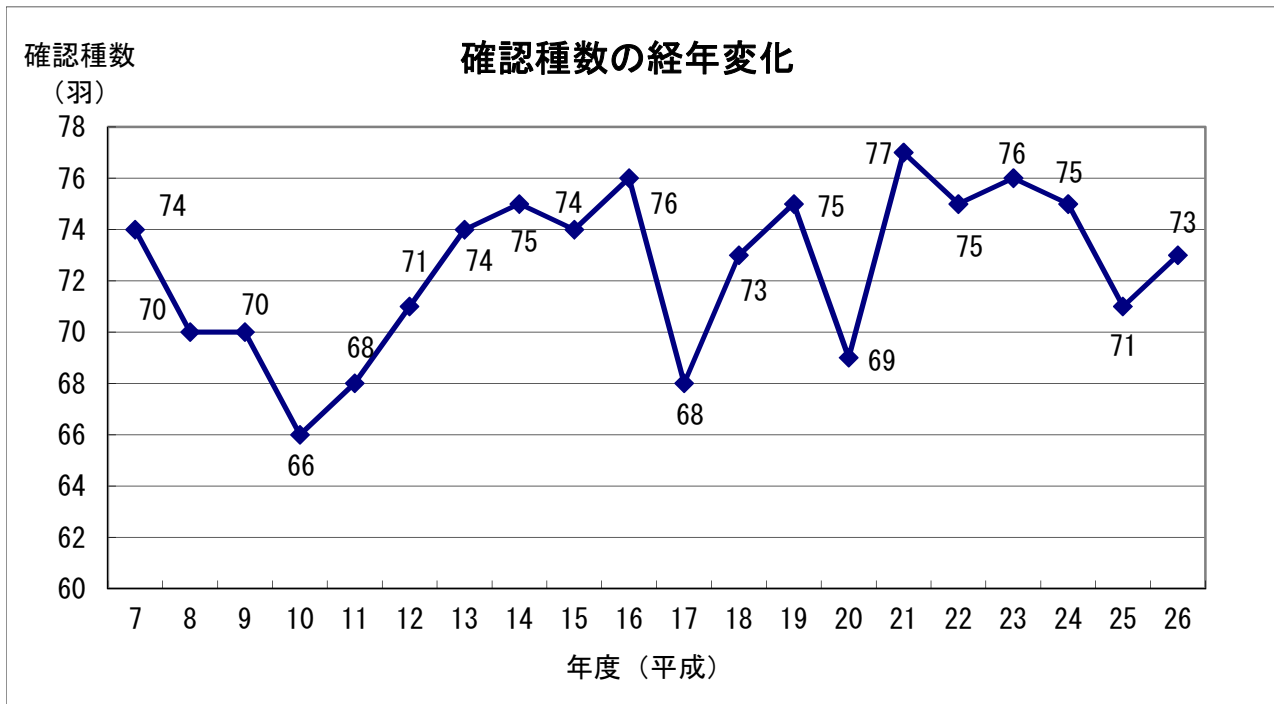
平成26年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。
《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成26年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40

Ⅱ 調査結果

1 年間確認種数と個体数

平成26年度の調査で確認された野鳥は、73種、延べ37,192羽であった。



※経年変化は、過去20年分

N0	目名	科名	種名	合計	N0	目名	科名	種名	合計
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	727	41	スズメ	カラス	オナガ	824
2			マガモ	4	42			ハシボソガラス	842
3			カルガモ	687	43			ハシブトガラス	1,146
4			ハシビロガモ	14	44		シジュウカラ	シジュウカラ	556
5			オナガガモ	355	45		ヒバリ	ヒバリ	46
6			コガモ	192	46		ツバメ	ツバメ	327
7			ホシハジロ	35	47			イワツバメ	55
8			キンクロハジロ	46	48		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,742
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	49		ウグイス	ウグイス	20
10			カンムリカイツブリ	1	50		メジロ	メジロ	568
11	ハト	ハト	キジバト	615	51		ヨシキリ	オオヨシキリ	43
12	カツオドリ	ウ	カワウ	742	52		セッカ	セッカ	13
13	ペリカン	サギ	ゴイサギ	3	53		ムクドリ	ムクドリ	7,527
14			アオサギ	78	54			コムクドリ	9
15			ダイサギ	45	55		ヒタキ	シロハラ	8
16			コサギ	37	56			アカハラ	1
17	ツル	クイナ	クイナ	1	57			ツグミ	630
18			バン	35	58			ジョウビタキ	42
19			オオバン	466	59			ノビタキ	1
20	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	20	60			イソヒヨドリ	2
21	チドリ	チドリ	コチドリ	6	61			コサメビタキ	2
22			メダイチドリ	6	62		スズメ	スズメ	14,173
23		シギ	タシギ	6	63		セキレイ	キセキレイ	2
24			チュウシャクシギ	7	64			ハクセキレイ	467
25			キアシシギ	8	65			セグロセキレイ	12
26			イソシギ	72	66			タヒバリ	65
27		カモメ	ユリカモメ	848	67		アトリ	カワラヒワ	1,258
28			ウミネコ	73	68			ベニマシコ	9
29			カモメ	6	69			シメ	24
30			セグロカモメ	104	70		ホオジロ	ホオジロ	43
31			オオセグロカモメ	2	71			カシラダカ	4
32			コアジサシ	14	72			アオジ	107
33	タカ	タカ	トビ	2	73			オオジュリン	199
34			オオタカ	1				カモ S P	1
35	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	7				ハクチョウ S P	4
36		キツツキ	コゲラ	23				サギ S P	1
37			アカゲラ	1				シギ S P	1
38	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	2				カモメ S P	9
39			チョウゲンボウ	16				カラス S P	42
40	スズメ	モズ	モズ	53				確認種個体数合計（羽）	37,192

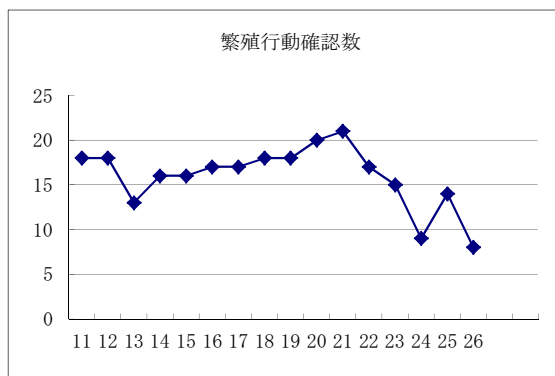
※ S P…種名まで特定できなかったもの

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

平成26年度に営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、8種であった。

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	カイツブリ	○										○					
2	ササゴイ							○	○	○		○					
3	ゴイサギ		○	○	○	○		○		○	○	○	○	●			
4	コサギ				○			○				○	○				
5	アオサギ				○												
6	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	チョウゲンボウ	○	○				○		○		○						
8	バン	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
9	コチドリ		○				○			○			○	○			
10	イソシギ			○								○					
11	コアジサシ						○		○							○	
12	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	ヒメアマツバメ								○	○							
14	カワセミ		○										○				
15	コゲラ					○					○			●			
16	ヒバリ	○						○			○		○			○	
17	ツバメ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	イワツバメ	○	○					○	○	○	○	○	○				
19	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○	
20	ヒヨドリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
21	モズ	○															
22	ウグイス					○											
23	オオヨシキリ	○		○		○	○		○	○	○	○				○	
24	セッカ		○	○													
25	シジュウカラ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
26	メジロ										○	○					
27	カワラヒワ	○	○		○		○	○			○	○		●			
28	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	オナガ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



※「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの

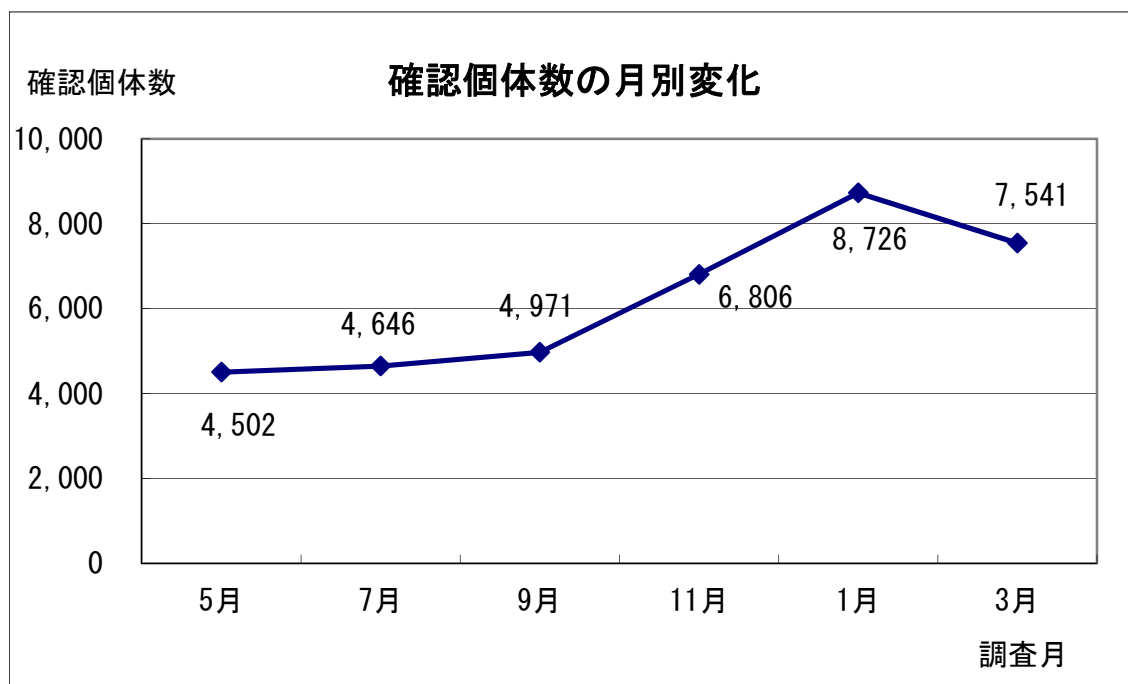
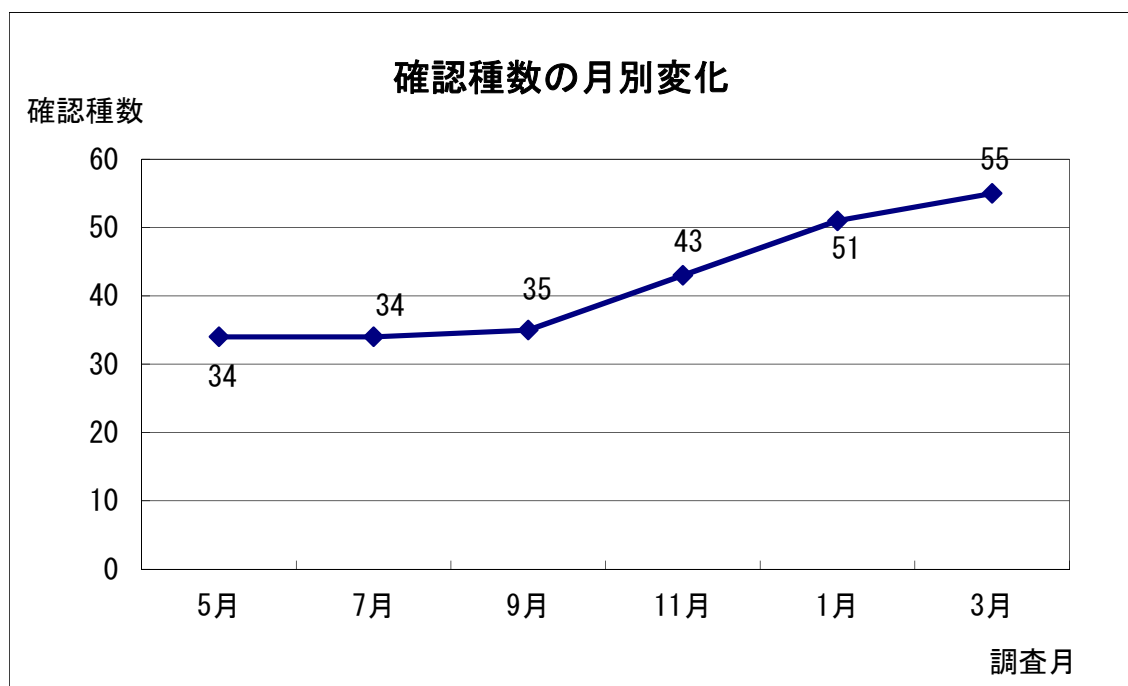
※調査日に確認された種のみを計上しているため、実際に繁殖をしている種はもっと多いと予想される

※種名の網掛けは、平成26年度に繁殖行動が確認された種

※●＝幼鳥のみ

※H13年～15年に計上されていたコムクドリは、H26年報告書から削除

3 調査月別確認種数と確認個体数



4 確認個体数ベスト10及び経年変化

(1) 調査月別 確認個体数ベスト10

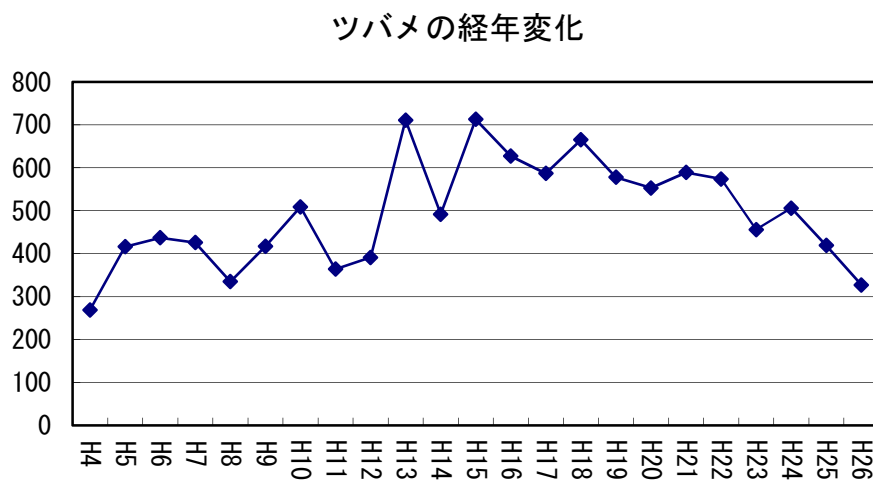
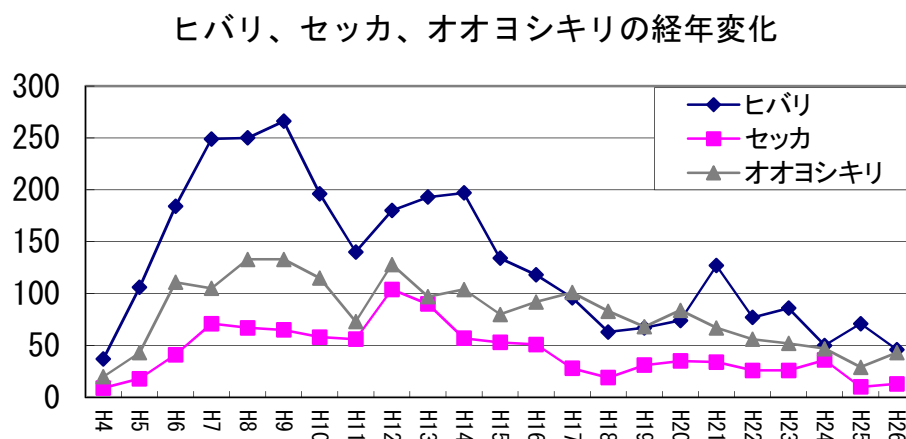
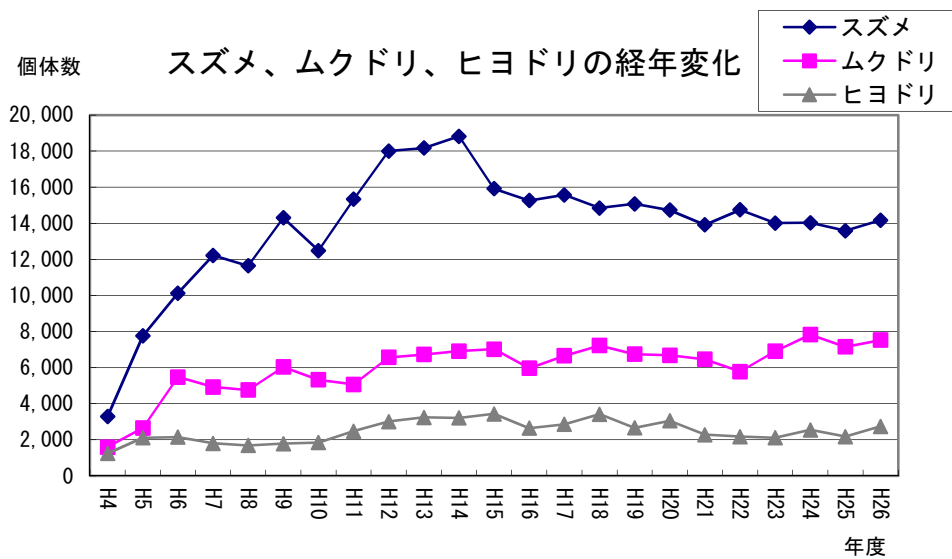
順位	5月	7月	9月	11月	1月	3月
1	スズメ 1,918	スズメ 1,964	スズメ 2,478	スズメ 2,434	スズメ 3,052	スズメ 2,327
2	ムクドリ 1,268	ムクドリ 1,428	ムクドリ 1,334	ヒヨドリ 1,101	ムクドリ 1,290	ムクドリ 1,191
3	オナガ 192	オナガ 184	ハシブトガラス 185	ムクドリ 1,016	ヒヨドリ 711	ヒヨドリ 614
4	ハシブトガラス 162	ツバメ 171	ヒヨドリ 130	ハシブトガラス 244	ユリカモメ 449	カワラヒワ 466
5	ツバメ 143	カルガモ 130	オナガ 121	ユリカモメ 238	カワラヒワ 438	ヒドリガモ 422
6	ハシボソガラス 138	ハシブトガラス 126	シジュウカラ 113	カワラヒワ 187	カワウ 311	ツグミ 365
7	カルガモ 93	ハシボソガラス 123	ハシボソガラス 104	メジロ 173	メジロ 285	ハシブトガラス 239
8	ヒヨドリ 89	キジバト 104	カルガモ 103	ハシボソガラス 163	ツグミ 230	オオバン 218
9	キジバト 85	ヒヨドリ 97	キジバト 96	ハクセキレイ 148	ヒドリガモ 195	ハシボソガラス 166
10	カワウ 68	シジュウカラ 64	カワウ 57	シジュウカラ 124	ハシブトガラス 190	ユリカモメ 160

(2) 確認個体数ベスト10の経年変化①

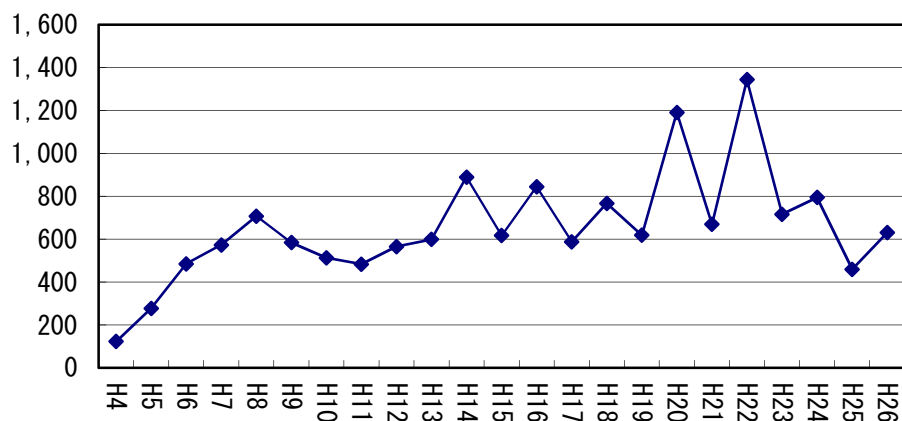
調査を開始した平成4年度以来、最も確認個体数累計が多いのはスズメである。平成26年度もムクドリの確認個体数が多かった。平成26年度の確認個体数ベスト10に入る種類の確認個体数累計の合計は、30,829羽で、全体の約83%に相当する。

順位	種名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
1	スズメ	14,747	14,010	14,028	13,580	14,173
2	ムクドリ	5,781	6,902	7,823	7,156	7,527
3	ヒヨドリ	2,178	2,118	2,597	2,173	2,742
4	カワラヒワ	687	596	693	529	1,258
5	ハシブトガラス	1,642	1,707	1,223	1,203	1,146
6	ユリカモメ	3,793	1,448	1,424	2,010	848
7	ハシボソガラス	829	922	912	965	842
8	オナガ	757	763	990	929	824
9	カワウ	1,548	963	1,057	1,085	742
10	ヒドリガモ	1,925	739	805	1,301	727
	合計	33,887	30,168	31,552	30,931	30,829

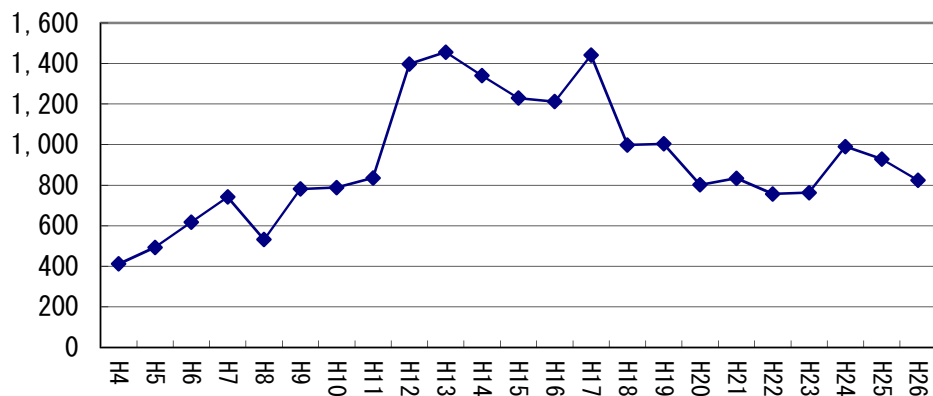
(3) 確認個体数ベスト10及びその他の種の経年変化②



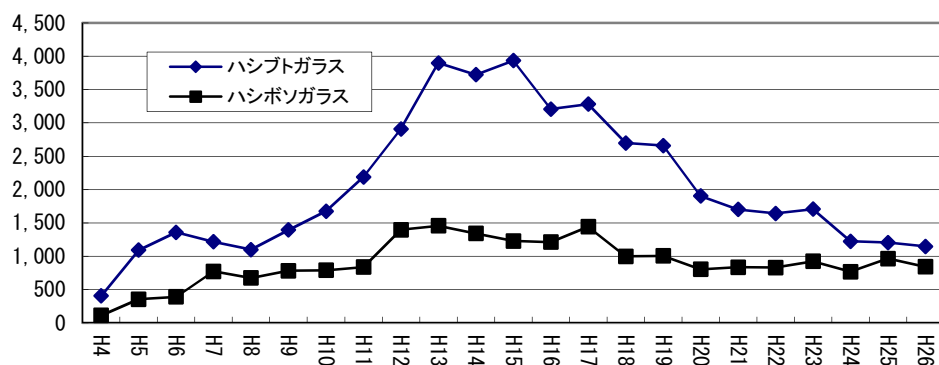
ツグミの経年変化



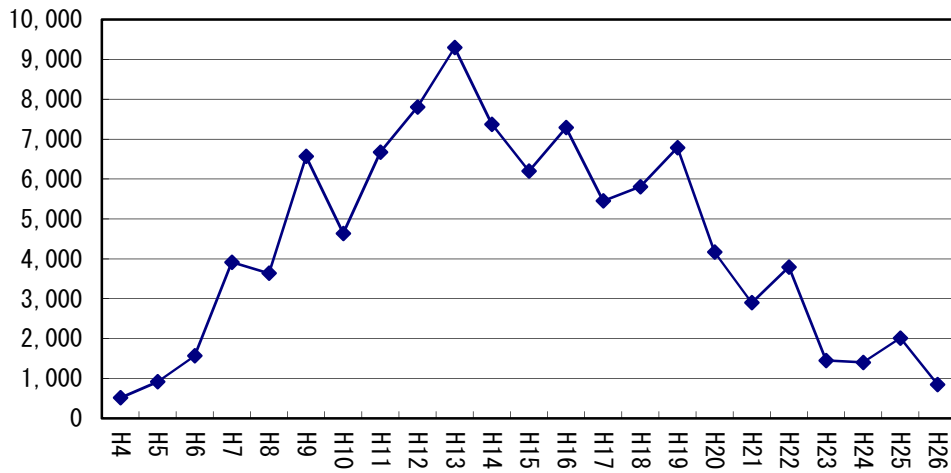
オナガの経年変化



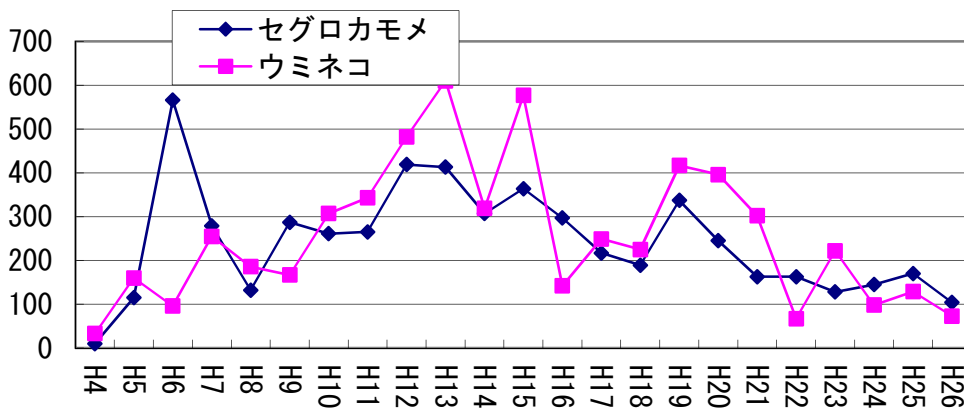
ハシブトガラス、ハシボソガラスの経年変化



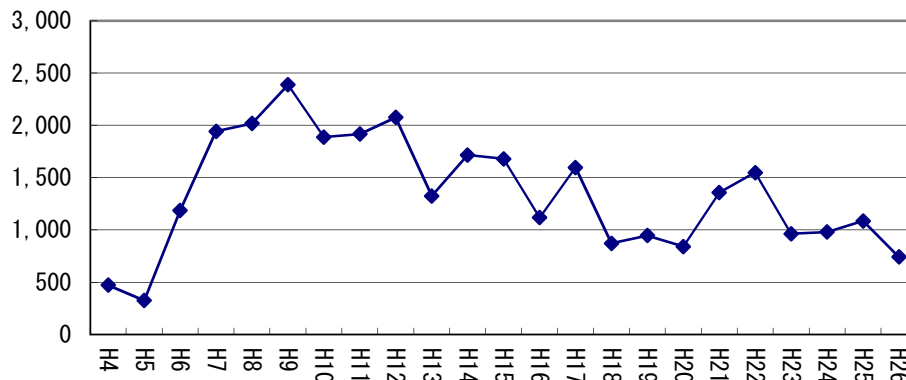
ユリカモメの経年変化



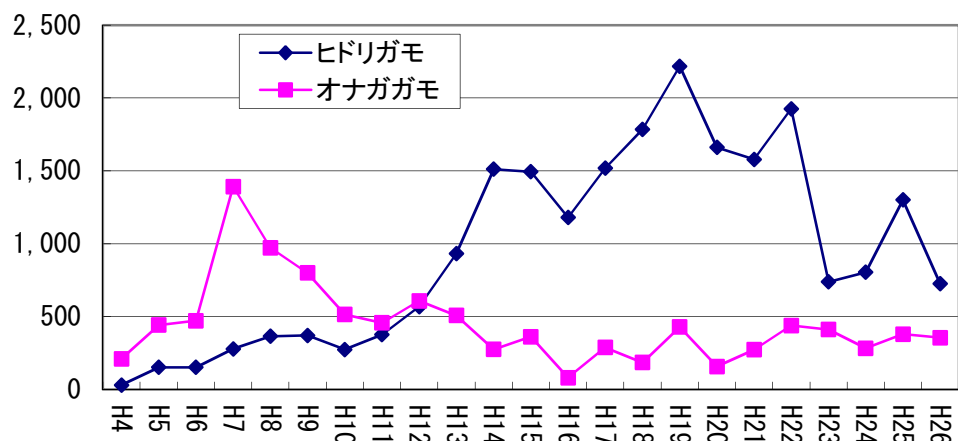
セグロカモメ・ウミネコの経年変化



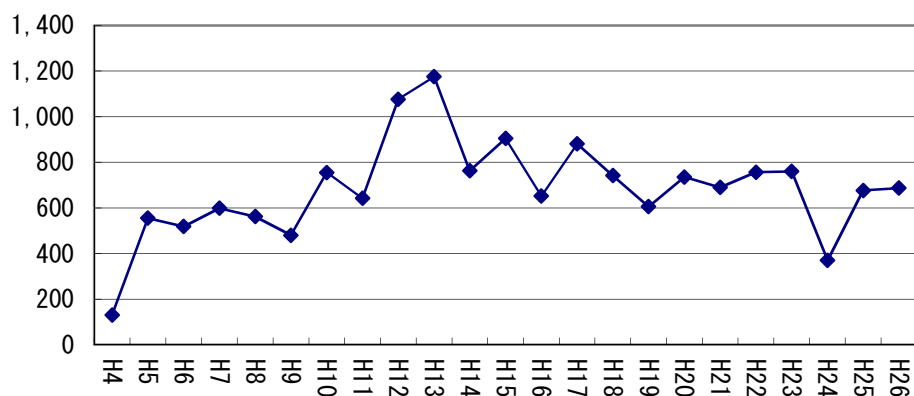
カワウの経年変化



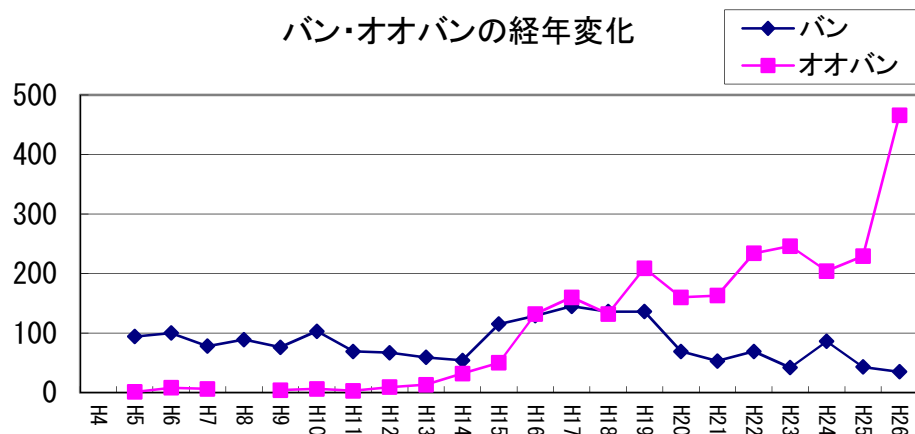
ヒドリガモ・オナガガモの経年変化



カルガモの経年変化



バン・オオバンの経年変化



Ⅲ

平成26年度 野鳥モニターによる 観察・繁殖行動記録

※調査書のコメントをまとめたもの

※11月、1月、3月は繁殖行動記録なし

平成26年度 野鳥モニターによる 観察・繁殖行動記録 目次

平成26年5月観察記録	15
平成26年5月繁殖行動確認	20
平成26年7月観察記録	22
平成26年7月繁殖行動確認	27
平成26年9月観察記録	28
平成26年9月繁殖行動確認	33
平成26年11月観察記録	34
平成27年1月観察記録	38
平成27年3月観察記録	43

平成26年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
1	カラスSP ツバメ	・6時前、音をたてて雨が降っていたので様子を見る。雨が止んで、空が明るくなってきたので少し遅めだが出ることにした。風がやや強いが暖かい。つつじが満開、ハナミズキもほぼ満開、箱根ウツギが八分咲き。街路樹、公園の木々の新緑がまぶしい感じである。途中、パラリと来たが濡れるほどではなかった。 ・カラスが上空を飛びまわっているのが目立った。鳴き声を上げてくれば見当がつくが、どちらか判らずが10羽程いた。 ・ツバメは谷中公園の近所で見た。 ・アオスジアゲハがハルジオンの花の蜜を吸っていた。アオスジを見るのは今年2度目。 ・早い時間帯でなくても、結構たくさん出会うことができたと思う。それでも早い時間帯の方がこれからは爽やかで良いか？	Eブロック
2	コアジサシ オオヨシキリ ツバメ ムクドリ	・今年もコアジサシ、オオヨシキリ、ツバメがやってきた。 ・ムクドリが鹿浜橋の主桁のすきまに入っていた。巣があるのだろうか。	Aブロック
4	スズメ	・さわやかな五月晴の「みどりの日」の朝です。新緑の葉桜の中で鳴き交わすスズメ達ににぎやかです。街路の植込みのカーペット状のオオムラサキが美しい。然し例年通り鳥の数、種類共に少ない朝でした。	Dブロック
4	ツバメ	・調査地域でツバメの巣は2ヶ所ありました。まだどちらもヒナの確認はできませんでした。	Eブロック
4	ムクドリ スズメ イワツバメ	・さわやかな5月の風に小鳥たちは、少しのびた草の中に入ったり飛び出したり、忙しそうでした。 ・ムクドリ、スズメ、イワツバメなど多く見かけました。	Bブロック
4	キアシシギ チュウシャクシギ コアジサシ ムクドリ	・西新井橋近くの木工沈床にキアシシギとチュウシャクシギ、西新井橋と扇大橋の中間位の川の中の杭の上にチュウシャクシギとコアジサシがいた。木工沈床にいたチュウシャクシギは、近くに飛んで来た同種の個体を飛びながら追い払った。 ・土手の上の道路で、ムクドリがハナムグリの幼虫を捕え、丸呑みしていた。	Bブロック
6	ムクドリ チュウシャクシギ	・連休最終日の寒い日（12℃ほど）だったが、少年野球チームでにぎわっていた。ドバト、ムクドリが目立って多く、その他の鳥影は薄かった。 ・5月1日11時ごろ下見に行った時は、チュウシャクシギ8羽の群れがいたが、7日の調査日には1羽しか確認できなかった。	Bブロック
9	スズメ ムクドリ ツバメ カワラヒワ カルガモ	・風は爽やかだが暖かいを通り越して暑いほどの気温である。そのせいか前回3月の調査とは鳥の様子が全く違う。目立つのはスズメだけ。ムクドリは公園に群がいたので数が増えたがあまり目立たない。もう巣にヒナがいるのか、餌を運ぶ姿もあった。何も珍しくはないがツバメ・カワラヒワに出会えてうれしかった。古綾瀬川はオオバン（3月）は消え、代わりにカルガモが占拠していた。	Aブロック

平成26年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
10	メダイチドリ キアシシギ イソシギ ツバメ	・荒川河川敷は堤防工事も終わり静けさを取り戻しつつあります。この時期一番美しい花はノイバラです。白く輝く花と、思わず歩みを止めてしまうほどの華やかな香りが忘れられません。 ・干潟にはメダイチドリ6羽、キアシシギ2羽、イソシギ1羽が降りて採餌していました。干潟に近づく道がなくて西新井橋からの観察になりましたが、メダイチドリの赤い色はよく目立ちました。 ・ツバメは1羽だけ見ました。去年より巣作りの開始が遅いように思います。	Aブロック
10	ツバメ カラス	・5月の大型連休も終わり若葉からあお葉に舎人公園は普段のにぎわいになり、朝の犬の散歩や、ラジオ体操から帰る人、通勤に駅へ向う人等々。 ・今朝は五月晴れになりましたが、北からの乾いた空気が入り風が段々と強くなりました。空飛ぶ鳥も少なく、林の中の鳥は発見しにくくなりました。 ・ツバメも林の中を低空で飛びまわっています。カラスが林の中を移動する度にオナガの鳴き声が四方から大きくなります。近くで子育ての巣があるのではと思いますがどこにあるのか見つかりません。 ・別の場所ではカラスが巣の中で動かず卵をあたためていると思われます。 ・調査は14種と少なかったのですが樹木の花があちらこちらに咲き始め季節の移りを楽しみながら調査を終えました。 ・種名には入れませんがアイガモの幼鳥10羽とヒナ9羽を大池で確認しました。	Cブロック
10	ツバメ ムクドリ	・毎年、ツバメが巣を掛けている場所で、今年も新しい巣が作られていました。まだ卵を抱いている様子はありませんでした。 ・ムクドリが戸袋に巣材を運んでいました。	Eブロック
10	カルガモ	・今朝は、風の強い中で、鳥の姿も少なかった。 ・東京拘置所脇水路、新古川橋の岸にアカミミガメ、15匹、日光浴。 ・5月9日カルガモのヒナ9羽五反野親水路から拘置所脇水路へ引越したと、ご近所の方から。	Dブロック
10	コアシサシ ツバメ スズメ	・中川からカモが消えて、コアシサシやツバメが帰って来ました。 ・八百免公園では巣立ったばかりの子スズメが、親スズメからエサをもらっている微笑ましい光景も見ることができました。	Eブロック
11		・3月末に終わる予定だった河川敷工事がいまだ三分の一ぐらいが工事中のため、鳥が少なく感じました。	Aブロック

平成26年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
12	カルガモ	・第1回目、カルガモ11羽が5月11日に孵った。5月12日、亀に食べられ10羽に減る。ネコ、カラスが傍で狙っていたが亀が食べるとは驚きでした。	Eブロック
12	オナガ	・今回初めて地に降りたオナガを見た。その美しい姿に、出会った見知らぬ人も関心して私に話しかけるほど。この時期はとりどりの花も咲き、一番観察が楽しい。	Cブロック
14	オナガ	・以前から時折歩いてきたエリアでしたが、初めての調査で緊張しました。葦の根本にいるバンも注意深く探しましたが、見つからず、いつでもいるハクセキレイも姿がなく8時を過ぎる頃までツバメも飛ばず、どうなることかと心配でした。 ・オナガは氷川神社、学校のグラウンド近くの電線などで見られました。	Cブロック
16	オオヨシキリ ヒバリ ハヤブサ	・オオヨシキリが2年ぶりに堀切橋近くの葦原に戻ってきた。 ・堀切橋～千寿桜堤中学校間の河川敷にサッカーコート1面、野球場ができ、狭くなった草地にも関わらず、3羽のヒバリがテリトリー争いをしていた。 ・ハヤブサ。北千住駅前のマルイのビルに飛来。確認出来た日は、3月19日～5月6日迄の間に14日の飛来。2羽で飛来してきた日が3日あり餌を食べていた（野鳥）のも2回確認。いずれも午後3時前後が多い。	Aブロック
16	コチドリ	・季節がら全体的に種類も数も少ない感じでした。江北橋の上流の浚渫残土置き場でコチドリが2羽確認できましたが、自分のモニター範囲を少し越えていました。	Bブロック
17	ハシブトガラス スズメ オナガ	・ハシブトガラスの1羽はため池の水辺でエサを水に浸し、ついばんでいた。くちばしを空に向けて水を飲んでいました。 ・スズメの親子、2組人家のへいの上に、子スズメは後ろの羽根をふるわせて寄りそっていた。 ・3日前、オナガが次々と木の枝にもぐり込んで行った。（3羽）	Dブロック
18	オナガ ムクドリ	・木に若葉が繁り観察がむずかしくなった。繁殖期と思うが鳥の鳴くのが何か少なく、又見受ける数も少ないような気がする。賑やかなのはオナガとムクドリのみであった。	Eブロック
18	コゲラ オナガ	・もう何日も暑い日が続いているのに、まだコゲラがいた・・・。 ・オナガが忙しく飛び交っている場所があったが、閉鎖された旧団地の中で、繁殖は確認できなかった。	Dブロック
18		・快晴21℃、探鳥日和。ヨシキリが確認できず、？	Bブロック

平成26年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
18	コガラ	・高い常緑樹のうす暗い葉の繁った中をせわしげに飛び交う小鳥の1団。コガラだと思ったのですが、さえずりの声からして7~8羽以上はいたように思います。はっきりと確認出来ないままに飛び去って行きました。残念です。こんな市街地にと今だに半信半疑です。	Dブロック
18		・天気は晴れましたが、この時期としては北風のせいで気温が低く寒いくらいでした。繁殖期のこともあり、種数・個体数も少なかったです。	Dブロック
19		晴天。	Bブロック
20		・種数・・・何となく寂しい報告に見えたので、昨年同月と比べてみたら4種少ない14種だった。宿鳥のイソシギ、ハクセキレイがいなかった。	Aブロック
24	オナガ ムクドリ ワカケホンセイインコ ハシボソガラス	・この時期になると、オナガが活発になってきていましたが、繁殖の様子は見られませんでした。 ・神社に隣接する住宅の雨戸にムクドリの巣があるようで、ヒナの声が聞こえていました。 ・外来種のワカケホンセイインコがハシボソガラスに執拗に攻撃されている光景を見ました。	Cブロック
25	オナガ カワラヒワ カワウ	・5月の最終日曜日、こんなに鳥が少なかったかなー。オナガとカワラヒワが5、6羽。 ・花畑運河にも綾瀬川にも一羽の水鳥もいない。カワウが1羽上空を通過しただけだった。	Eブロック
25	アオサギ ダイサギ	・干潮時の観察。アオサギ、ダイサギは観察できた。アオサギは干潟の水際を歩きながら巧みに採餌を続けていた。	Cブロック
26	スズメ	・5月から宮城地区担当になる。スズメが予想していたよりも多かった。これから公園の樹木も楽しみに加わった。	Aブロック
26	ハシボソガラス ムクドリ メジロ	・公園にて、ハシボソガラスがムクドリをおそっていました。野生の世界を見た思いです。 ・メジロの姿が、民家の庭先で見られましたが、カラスを警戒している様子です。	Dブロック

平成26年5月（観察記録）

観察日	種名	観察記録	観察者 (敬称略)
27	ムクドリ	・雨上がりで初め見かけることの少なかった小鳥たちだが、天気回復とともに見かけるようになった。 ・今は子育てをしているムクドリが多く、随所で餌を運ぶ姿を見かけた。餌をねだるヒナ鳥の声もそこここから聞こえてきて賑やかである。公園まわりの民家の軒などに営巣が多い。開けたてのない雨戸の戸袋は良く使われるようである。今回もそうした家を一軒見かけた。	Dブロック
28	ヒメアマツバメ	・扇大橋のたもと、光家具の屋上付近にかつてイワツバメが使っていた巣を利用、営巣しているらしい。繁殖は確認していないが常に4～12羽の群で飛ぶので繁殖が推測できます。イワツバメは見当たりません。	Aブロック
29	オオヨシキリ	・試しで1年間この地域をやらせていただくことになりました。地域の全体像が知りたくて別の日に徒歩と自転車でそれぞれ1回ずつ下見に行きました。ここは古い住宅地と倉庫、工場の地区と工場や倉庫の跡地の大規模再開発地区の2つに分かれます。 ・観察の段取りとしては千住桜木町公園を中心に隅田川を見て、小さな緑地を中心に住宅地等を観察することにしました。隅田川では対岸の荒川区側の小さなアシハラからオオヨシキリの声が聞こえてきました。 ・隅田川の川沿いは工場移転跡地等に大規模なマンションと商業地区ができて刻々と風景が変わっています。緑地も創設されていますので、再開発が落ち着けば今までと違う鳥の姿も見られるのかもしれません。	Aブロック
30	コチドリ	・例年この時期に観察していた「コアジサシ」と「オオヨシキリ」が見られなかったのは淋しい限りだ。 ・全般的に野鳥の種類と数が少なかった。 ・満潮時のためか、中川でのゴミが目立って多かった。 ・中川公園残土処理場で、久しぶりにコチドリ2羽を観察した。	Eブロック
31		晴れ。暑い日でした。	Eブロック

平成26年5月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
10	バン	舎人公園 大池	まだ飛ぶことのできない小さなヒナが親と一緒に水面を移動している。	Cブロック
10	スズメ	舎人公園 あずまやなど	あずまやの屋根の角パイプなど、巣と幼鳥を多数確認。	Cブロック
10	スズメ	2階建の屋根裏	親が、離れると呼び続けている。	Dブロック
10	ムクドリ	2階建の雨戸の戸袋	ヒナの声はしない。抱卵中か、出てこない。	Dブロック
10	カルガモ	東京拘置所水路	元気に泳いでいた。	Dブロック
12	カルガモ	東綾瀬公園の池	親鳥に見守られヒナが10羽泳いでいた。	Eブロック
16	ムクドリ	柳原二丁目	雨戸の戸袋に出入りしていた。	Aブロック
16	ムクドリ	柳原一丁目	雨戸の戸袋に出入りしていた。	Aブロック
18	スズメ	加平三丁目 (3カ所)	それぞれ民家の屋根、ヒナの声がし、スズメが出入りしていた。	Eブロック
18	オナガ	しょうぶ沼公園	桜の木に巣があり、オナガが中に入っていた。ヒナの声はない。	Eブロック
19	スズメ	電柱の機械の隙間	何か(餌)をくわえた成鳥が隙間に入る。ヒナらしき声が聞こえる。	Bブロック
19	ムクドリ	関原三丁目民家	成鳥が民家に入ると、ヒナらしき声がきこえる。	Bブロック
19	シジュウカラ	梅田五丁目民家の木	巣立ち直後と思われる幼鳥と親がいたが、幼鳥がネコに食べられた。	Bブロック
19	ツバメ	関原二丁目民家のガレージ	抱卵している様子。	Bブロック
20	ムクドリ	千住五丁目、名倉医院敷地	古木の洞(2つ)に別々の固体が出入りしていた。(餌を銜え)	Aブロック
20	ムクドリ	日の出町 民家 戸袋内	餌を銜えて入る。	Aブロック
20	スズメ	千住五丁目、学びピア21	餌を運ぶ。	Aブロック
24	スズメ	電柱の分電盤	給餌時のヒナの泣き声。	Bブロック
25	ムクドリ	神明南一丁目 民家の屋根	口に虫をくわえてた。	Eブロック

平成26年5月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
25	ムクドリ	鹿浜橋 接ぎ目	隙間に親鳥が頻繁に出入、その時にヒナの鳴き声。	Cブロック
27	ムクドリ	民家 軒先	ヒナの声。	Dブロック
27	スズメ	電柱 トランス支柱	ヒナの声。	Dブロック
29	ムクドリ	全域	餌をくわえて飛び回っていました。	Aブロック
30	ツバメ	中川 氷川神社先	電線に巣立ったばかりのヒナが5羽止り、その周囲を親鳥2羽が飛んでいた。	Eブロック

平成26年7月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
2	モズ ムクドリ	・7月としては初めてモズ（オス）を確認した。 ・本日7/2は14種（市街地で6種、河川敷で12種）と鳥の種類が少なかった。 ・河川敷の草を刈った効果か、ムクドリが179羽（河川敷のみ）と多く観察された。	Aブロック
3	スズメ ヒヨドリ ワカケホンセイインコ	・曇。家を出て早々今年孵った小雀の声を多く聞く。カラスの声もあちらこちらで聞こえるが、生ごみを出す日ではないので近くに群れて居らず。 ・蒲原神社前のテニスコートの周りのサンゴジュの実が赤く色づき始めたが小鳥はまだ来ていない。西沼公園のネムノキが花盛り。 ・7:40過ぎ雲薄くなり日差しが暑い。6月上旬、子育てのためムクドリが10羽以上集まり、やかましかったのに1週間ほど前から1羽も居らず静か。屋敷林のそばの桜の木の上の方でヒヨドリが囀っているのを聞きながらモニター終了。（追記、6月1日、午後4時ごろ、佐野いこいの森で、10分弱ワカケホンセイインコ1羽観察。初めて見ました。デカかったです。）	Eブロック
3	スズメ オナガ キジバト	・初めての地区なので地図を見ながらのカウントでしたが、スズメがとぎれることなく現れ、幼鳥らしいのも見られた。 ・千住曙町にオナガが2羽とキジバト2羽さらに町の中のソメイヨシノにオナガが1羽認められた。	Aブロック
4	ムクドリ オオヨシキリ	・梅雨さなかの時折小雨の中、ドバトの25羽ほどの群れ、ムクドリが目立って多く、その他の鳥影は薄かった。 ・カラスが見当たらなかった。オオヨシキリは姿の見たのは1羽だったが、千住新橋のそばの葦原の7カ所で囀りを聞いた。 ・地元の釣り人から、昔はフクロウがいた、チゴハヤブサを見たという話を聞いた。	Bブロック
8	キセキレイ カルガモ スズメ	・キセキレイは我家の窓のそばの電線に仲良く2羽止まっていた。 ・カルガモは、それぞれの親のそばで別々にただよっていた。 ・スズメの2羽は、白い小花を口にくわえキスをするように何度もつつき合っていた。	Cブロック
12	アオサギ スズメ ムクドリ	・アオサギは、5羽がかたまって水元方面に飛んで行きました。 ・朝の散歩中の人が、白鳥が居るので行ってみたら、ガチョウが土手で草を食べていました。 ・スズメ、ムクドリはまだ幼鳥か、親と一緒にいるのが見られました。	Eブロック
12		・今朝は台風一過とならず、蒸し暑い朝でした。 ・東京拘置所脇水路土手にキリギリス（多分）の声4匹。	Dブロック

平成26年7月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
12	ツバメ	・まもなく梅雨があけて一年で一番暑い季節がやってきます。今いる鳥は一部を除いてここで繁殖している鳥です。つまりは足立区民ということですね。 ・去年からツバメが少ない印象を受けます。また戻ってくれることを期待します。 ・これから盛夏なのに植物だけ見ると秋の気配を感じさせます。エノコログサ、アキノエノコログサ、オオイヌタデが目立ちました。荒川が水位が高く干潟はありませんでした。	Aブロック
12	スズメ ムクドリ オオヨシキリ	・スズメ1羽が青虫、ムクドリ1羽が蛾か蝶々のような虫と格闘していましたが、やっとう口にくわえて、どちらも飛び立ちました。 ・この場所では初めてオオヨシキリの姿を見ることができました。 ・いつものチョウゲンボウ、ハクセキレイは見ることはありませんでした。	Bブロック
12	シジュウカラ カワラヒワ スズメ ヒヨドリ チョウゲンボウ イワツバメ	・台風8号が11日の朝、房総に上陸通過、その一日後の調査日です。東京には大きな被害はありませんでしたが、台風一過で青空が広がり、風も無く気温が急上昇してゆきます。木々の小枝も静かで、小鳥類が観察できました。 ・シジュウカラ、カワラヒワ、スズメは幼鳥も交わり、鳴声が良く聞こえます。 ・ヒヨドリが飛んできました。セミをくわえています。近くで、ヒナ鳥がさかんに鳴いて餌をおねだりしています。 ・チョウゲンボウが、青空に時々羽ばたきながら、西から南東の方へ飛んでいきました。 ・イワツバメが大池の上空高い所を交差しながら、飛び回っています。 ・今回の調査で一番不思議なことは、大池にオオヨシキリの鳴声無く静かなことです。毎年2、3ヶ所以上で鳴声が聞こえるのですが…。その後何度かかけてましたが、姿さえも見られません。このようなこと初めてです。 ・大池にアイガモ5+12=17羽	Cブロック
13	スズメ	・空地に自生したエノコログサの実に沢山のスズメがむらがって採餌中結構にぎやかだった。今日は鳥の数も少なくスズメの調査に来た様だった。	Eブロック
13	スズメ ムクドリ イワツバメ	・梅島中通りのトランスの中、幼鳥にエサを与えている親スズメ ・西新井公園の芝生上では子連れのみくドリ。 ・ベルモント公園の池の上を飛びかうイワツバメ達等うれしい出会いの朝でした。	Dブロック

平成26年7月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
14		・ 天気は曇り。	Bブロック
14	ムクドリ スズメ	・ ムクドリ、スズメが目立った位で、全体的に種類も数も少ない感じでした。	Bブロック
14	シジュウカラ	・ 毛長川は昨日あたり草刈をしたようで、アシなどもすっかり少なくなっていました。 ・ シジュウカラは目視できませんでしたが、しっかり声を聞きましたので記録しました。	Cブロック
15	スズメ ムクドリ キジバト	・ 親にエサをねだる仔スズメを見た。若いムクドリも多かった。 ・ 巣材の小枝を運ぶキジバト発見。行き先を追うと木の中の巣（まだ未完成か？）に相方がいた。	Bブロック
17	ツバメ ヒバリ	・ 河川敷に入りようやくツバメ4羽、ヒバリ2羽に会えた。	Aブロック
20	カルガモ	・ 突如、公園に、カルガモの親子が入場して来てビックリ！そのまま植え込みを抜け道路に出ると川へ向って行く一親は、さっさと降りて行ったが、ヒナ達は道路の縁石を越えられず四苦八苦・・・それでも何とか段差の低い所をさがし親の後を追う一少しして再び川の中を覗くと、しっかり5羽のヒナを率いた親子を確認、ホッとした。	Dブロック
20	ツバメ	・ 暑さのためか、全体に鳥の数が少なかったです。 ・ ふだんこの地域では見られなかった、ツバメ2羽が見られました。	Dブロック
20	オナガ ハシブトガラ ス コチドリ	しょうぶ沼公園・・・オナガがハシブトガラスを追う光景を4回ほど見た。また、低木の間をすばやく移動する小鳥（スズメ位）を2回ほど見た。種類はわからない。 ・ 観察できる鳥の種類が単調化しているような気がする。私の知識不足か。 ・ 我が家の周辺ではシジュウカラ、カワラヒワを多く見る。調査時には見られない。また、コチドリがよく飛び、鳴いている。繁殖しているのではと推測している。確証はない。	Eブロック

平成26年7月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
20	カワウ	・川にはカワウ1羽だけ。幼鳥は親離れして、自分で餌を取っている。	Eブロック
21	オナガ ムクドリ ハシブトガラス ス カルガモ	・公園の池が流れる堀でオナガ、ムクドリが水浴び。 ・公園は蟬の出て来た穴だらけ。抜け殻も見付けた。 ・1羽のハシブトガラスを2羽のオナガが執拗に追い回していた。 ・カルガモ。第1回5/11、11羽孵る。11日9羽、今8羽。第2回6/2、8羽孵る。しょうぶ沼に移る。水抜いて不明。第3回6/14、8羽孵る。15日3羽その後不明。亀と鯰が食べたそうです…。	Eブロック
22	ムクドリ カワラヒワ スズメ	・全体的に種類も数も少なかった。 ・中川公園ではムクドリのファミリーが多く見られた。暑さのせい か、カワラヒワ（5）やスズメ（1）の水浴びが残土処理場の水溜りで見られた。 ・また「要注意外来生物」とされている蝶「アカボシゴマダラ」を初めて見ました。	Eブロック
23	スズメ	・昨日梅雨明けして今日も早朝から暑いです。実家の2階からスカイツリーが見えるのですが、今日は水蒸気のためかぼんやり霞んで見えます。 ・ツバメがいませんでした。隅田川脇のマンション建築予定地が空地になっていて、スズメの若鳥の群れが25羽いました。隅田川はユリカモメが見られることも多いのですが、今日は何も見られませんでした。 ・ほとんど市街地ですが、この担当地域は広いです。スズメの空白地帯がないのが嬉しいです。	Aブロック
26		・早朝で外気温26℃。 ・昨年確認したコアジサシを発見できず。	Bブロック
26	ヒメアマツバメ オオヨシキリ セッカ ハクセキレイ ヒヨドリ ハシボソガラス	・ヒメアマツバメ（2）…1つの巣から飛び立ち巣に戻る、ヒナの存在は分からないが利用している。 ・オオヨシキリ（2）…小聲でさえずり追いかけてこもしている。 ・セッカ（1）…土手の斜面の高草わきに決まって降下する。巣がありそう。 ・ハクセキレイ（4）、ヒヨドリ（3）、ハシボソガラス（3）…いずれもファミリーのようです。どこで繁殖したのでしょうか。 ・いずれにしても今日は朝から暑かった。	Aブロック

平成26年7月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
26	ムクドリ オナガ シジュウカラ	・梅雨が明け、1年で一番暑い時期の調査。早朝早めに出発したが野鳥の数が少なく、活動もにぶい。 ・木陰でエサを採るムクドリ・オナガが目立った。シジュウカラの幼鳥の声も聞くことができた。	Dブロック
26		・いつもより早く調査に出発したが、暑い夏で野鳥の種類も個体数も非常に少なかった。野鳥も涼を求めてどこかへ移動しているのでしょうか。	Dブロック
27	カワセミ ツバメ	・今日は鳥数は少なかったが久しぶりにカワセミが見られた。 ・5月に営巣中だった、ツバメ（六木三丁目）は、6月22日3羽巣立ったと知らせてくれた。	Eブロック
27		・このところ日本列島は連日猛暑だ。今日も朝から暑い。 ・暑さのせいで鳥も姿をあまり見ない。	Aブロック
28	オナガ ムクドリ	・オナガやムクドリの若い個体を多くみかけるようになりました。 ・ムクドリの若い個体がセミを食している姿がとても印象的でした。	Cブロック
29	スズメ カワセミ	・スズメー道路で、虫を食べていた。羽根のない、ミミズより短くて少し太い虫。 ・スズメー公園の草むらのはずれで羽根のある昆虫を食べていた。 ・カワセミー3年ぶりにやっとカワセミに会えた。青緑色の美しい後姿と、木の枝に止まっていたオレンジ色のお腹を見せてくれた。	Dブロック

平成26年7月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
12	スズメ	電柱の配線管	扉が開いていて巣材が見え、親が入ると声が聞こえた。	Dブロック
13	ツバメ	大谷田五丁目	ガレージ内、電燈の笠の上に営巣。	Eブロック
13	スズメ	大谷田二～五丁目	変電器の中、雛の声と親鳥の出入。 (6か所)	Eブロック
13	スズメ	トランスの中	幼鳥のエサねだりの声、エサを与えていた。	Dブロック
13	ムクドリ	公園	親鳥を追っていた。	Dブロック
14	スズメ	電柱機械のすきま	巣材を運ぶ。	Bブロック
14	ヒヨドリ	稲荷神社（梅田五丁目）	成鳥が幼鳥にエサを与える。	Bブロック
20	カルガモ	毛長公園～毛長川	親子の行列。	Dブロック
21	カルガモ	公園の池	5月11日孵った雛を連れて泳ぐカルガモ。現在8羽元気に育ってる。（写真添付あり）	Eブロック

平成26年9月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
3	カワラヒワ スズメ カラス ムクドリ シジュウカラ	・涼しい日が続いたので、どうなるかと思ったが、出る時は昨日に続いて晴天、さわやか。 ・この2週間、毎日向日葵にやって来るカワラヒワのペアを確認してから出掛ける。 ・数分歩いた所にある駐車場に年配の女性がパン屑を撒いていて、スズメが25羽ほど集まっていた。近くのスズメが皆そこに集まってしまった感じ。 ・8月中旬以降カラスが大分減った。今日も、ムクドリがイチジクの木に集まっている所を見かけた。 ・今日の傾向としては、群れている所と姿の見えない所が分かれている感じ。種数が少ない気がした。 ・シジュウカラ・ムクドリの中に幼鳥らしい感じのものあり。赤とんぼの姿とコオロギの声が秋を感じさせる。	Eブロック
7	ウミネコ イソシギ カワウ	・雨上がりの曇天で鳥影は薄かった。ウミネコが河原のグラウンドに群れていた。 ・イソシギが川岸に散見された。 ・水門あたりにボラが群れていて、一羽のカワウがしきりに捕食していた。	Bブロック
8	スズメ アオサギ ダイサギ コサギ カワウ カルガモ	・今年の9月8日は、芋名月（十五夜）と白露が重なった。すっかり秋。秋草がしげり、葉には白露を宿している。虫の声がかましい。 ・草やぶに近づくとスズメの群（20～40羽）が飛びたちおどろかされる。 ・アオサギ、ダイサギ、コサギ、カワウ、カルガモなどの水鳥がそろってみられた。 ・本日14種観察。	Aブロック
9	スズメ	・六木公園にスズメがたくさんいました。ドバトも。 ・雨あがりでドバトがひなたぼっこをしていました。 ・鳥は全体的に少なかったです。	Eブロック
10	カワセミ	・扇大橋の数メートル下流の小さな池？でカワセミが飛び、少し離れた同じ池の草むらに入りました。暫く見ていたのですが出て来ませんでした。 ・池は荒川と土管？でつながっていてかなり深くて土の壁が出来ています。もしかしたらカワセミが営巣しているのかも？これからも注意して観察したいと思います。	Bブロック
13	ハシボソガラ スズメ	・堀切橋近くの荒川（右岸）の土手に上がりいつものように自分のエリアを見わたす。鳥の声、姿全くない。 ・よく見ると土手にハシボソガラス1羽餌をついばんでいた。さらにスズメ5羽が飛び立った。	Aブロック
13		・確認種数5種、個体数18とさびしい成果でした。 ・季節の変わり目、くもり空でやむを得ない結果でしょう。	Dブロック
13		・季節の変わり目、天候が曇りのためか、5種の確認と少なかった。	Dブロック

平成26年9月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
13	ツバメ スズメ ムクドリ ヒドリガモ	・曇り空にパラッとにわか雨がきました。空は明るく長く降る雨ではありません。調査は続けます。 ・ツバメが1羽、早いスピードで一直線に飛んで行きました。まだ夏鳥がいました。 ・スズメ、ムクドリは若鳥が交り集団化し始めました。 ・大池に冬鳥のヒドリガモが来ていました。他のカモとは離れて大池の真中を移動しています。まだエクリプスですので、羽色が地味でオス、メスの区別が私には出来ません。 ・相変わらずアイガモ16羽が陸に上がり、ふてぶてしくいます。 ※エクリプス…繁殖期以外のカモ類のオスに見られる、メスに似た羽毛（色）のこと。カモ類のオスは、つがい形成する秋から繁殖期の夏にかけて美しい羽をしているが、夏に換羽するとメスと同じような羽色となる。初秋に渡って来たばかりのカモ類が地味な色をしているのは、こうした理由による。エクリプスから美しい羽に再び換羽するのはおおそ10月ごろ。（野鳥を楽しむポータルサイト BIRD FAN 野鳥ことば辞典より引用）	Cブロック
13	スズメ チョウゲンボウ	・白化スズメ…日の出町緑地、100羽ほどの群の中、白化1羽まじる。昨年も同期同所でカウントをする。 ・チョウゲンボウ…荒川の鉄橋上、2羽（♂♀）チョウゲンボウが離れて止まっていた。	Aブロック
13	サギ	・さわやかに虫達の合唱はどこまでも響き渡り、とても綺麗でした。 ・鳥達は少なめでした。 ※調査に向かう途中、熊之木近くの木の杭に、頭・嘴・胸に薄いオレンジ色のサギが20羽止まっていた。とても綺麗な鳥でした。	Bブロック
14		・歩き始めて30分程は、鳥の声・姿が見られず、今朝は何だと思いました。 ・拘置所脇水路を観察していたら、少しずつ姿を見る事が出来ました。 ・公園では多数の人がおり、そのためか鳥の姿も少なかった。	Dブロック
14	カルガモ	・大谷田・郷土博物館の日本庭園の池で、毎年カルガモが繁殖しているようです。モニター調査時には、まだ開館していないので、中には入れませんが、今年も8羽のヒナが孵ったようです。ヒナが孵ると間もなく葛西用水に引っ越してしまうとのことでした（庭園管理人談）。	Eブロック
14	カルガモ	・昨夜氷川神社の祭礼で遅くまで人通りがあったらしい。神社は、今日も屋台が出たままなので鳥の姿は全くなかった。これも人災であろう。 ・しかし、カルガモの若鳥が親と同じ姿になり連れていた。2羽は岸辺の泥を、しきりにつついていた。	Cブロック

平成26年9月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
14	ムクドリ スズメ	・工事中や雑草が繁っていて、調査できなかった場所が多かった。 ・ムクドリやスズメの群れに幼鳥が多かった。	Bブロック
15	スズメ	・静かな敬老の日の朝です。例年通り鳥の種類、数共に少ないです。 ・東部病院の屋上トランスの上で存在感たっぷりの鳴き声にベルモント公園方向から対応するかのようなカラス達の声が面白い。 ・梅島公園、ベルモント公園では幼鳥のスズメ達、餌をついばんでいました。	Dブロック
15	スズメ アカゲラ	・予報では晴れでしたが、雲が多くぱっとしない天気です。今年は8月下旬から涼しい日が始まり今朝も25℃以下の涼しい朝です。 ・スズメは見るものの河川敷も鳥影は少なく「今日は下見にしてもう一度改めて観察をしようか」と思っていた矢先にアカゲラ♂が出てきました。 ・最初は声だけで「まさかアカゲラ？」と疑心暗鬼で双眼鏡を構えていたら、オニグルミの木の中から出てきました。当地で観察するのは初めてです。しばらく追っかけましたが、やがて飛び去ってしまいました。渡りの途中なのだと思いますが、鳥の神様からのご褒美をありがたく頂戴しました。 ・尾竹橋公園の野球グラウンドにスズメ50羽くらいの群れが入っていました。まだ巣立ちしたばかりの動きの鈍いスズメも見かけます。疲れるのか、気配を消しているのかわかりませんが、しばしば座り込んでしまいます。俺もガンバルからガンバレということですね。	Aブロック
15	スズメ	・スズメが給餌のためか、雑草の生茂っている場所に偏って見られた。	Bブロック
16	スズメ	・前回調査の際には多く見られた住宅街のスズメが非常に少なく、逆に緑地に多く見られた。繁殖が終わったためか。	Bブロック
17	シジュウカラ スズメ	・高曇りの涼しい調査日よりでした。始めてすぐシジュウカラの姿を見て幸先良しと思ったのですが、たまにスズメの声を聞くぐらいでほとんど姿が見えません。 ・隅田川沿いのマンションの植え込みによくスズメの群を発見、ほほの黒斑がしっかりしていないものが多く、親から独立したばかりの若鳥たちなのでしょう。 ・仲町公園ではもっと大きな若鳥の群を見つけました。親たちはつがいで別行動しているようでした。	Aブロック
18	ムクドリ	・今年も江南公園はムクドリの塹になっている。夕方の6:00~6:30分ころになると200~250羽が集まる。夜中に2・3回集団で大きな声をする。 ・今年は自宅の戸袋でムクドリが繁殖した。親鳥の出入りとヒナの声を確認する。もしかしてこの集団に加わっているのかもしれない。	Aブロック

平成26年9月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
20	イソヒヨドリ	・イソヒヨドリ…土手下のスレート造りの倉庫の底の上に、2羽（♂♀）のイソヒヨドリがいた。♂が啼いた後、近くの塔屋へ飛んだ。♀は底の下に潜った。	Aブロック
20	キジバト	・晴。 ・我家の庭の木にキジバトの巣で2羽繁殖。	Bブロック
20	ヒヨドリ カルガモ	・夏の終わりの公園は草が伸び葉が散り、サッカーボールが忘れられ 疲れた感じだった。 ・ヒヨドリが戻って来てる。 ・繁殖したカルガモはもう識別できない。	Eブロック
20		・木々の葉が減って野鳥観察し易くなった。 ・鳥の種類・数が貧弱で観察方法に問題があるのか心配です。 ・9/23（火）家で「モズの高鳴」を聞いた。	Eブロック
21	コムクドリ	・コムクドリが来ているという情報をもらい、気を付けて見ている と、いました！3羽、電線にとまっていました。 ・土手にはヒガンバナが満開です。	Eブロック
23	ハシボソガラ ス シジュウカラ	・公園に居たハシボソガラス、くちばしで地面をつついてえさを探して いた。 ・ビオトープ公園にゴイサギの幼鳥が居たらしい。自然観察員さんの 情報（6月の第一週が観た最後。ちょっと古い情報ですがめずらしい のでお知らせしました）。 ・シジュウカラ、大きな1本の木の間で飛び交っていた。	Dブロック
23	キジバト カラス	・キジバトの夫婦が仲良くエサをついばんでいました。 ・カラスの数がだいぶ少なくなってきたと思います。	Dブロック
26	スズメ ハクセキレイ ムクドリ コサメビタキ オナガ	・この地区の調査も3回目になりだいぶ様子がわかって来ました。住 宅はおもにスズメ、カラス、ハクセキレイ、ムクドリなど見られる種 類は決まっていますが、隅田川、千住桜木公園、千住神社はちょっと 面白いです。今回は秋の渡りを期待して面白そうな場所に時間をかけ てみました。 ・幸い千住神社でコサメビタキ1羽が見られました。イチョウの木の てっぺんにいたので、よく見ることができました。また千住桜木 公園脇の民家の庭にオナガの幼鳥ばかりの群れが7羽鳴き交わしてい ました。	Aブロック

平成26年9月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
27	イソシギ	・一週間前調査にいきました。15分歩いて鳥の声も姿も見えないので今日2度目の調査です。 ・街の中には鳥は居らず公園を3つ回りました。 ・6種63羽とあまりの少なさに気が沈みました。唯一花畑運河のイソシギの出現に心が癒されました。	Eブロック
27	スズメ	・今日はスズメがいつもよりかたまっていた気がします。	Aブロック
27	ムクドリ コムクドリ	・9月20日4時半頃、我が家の南西側の電線にいた40～50羽のムクドリの中にコムクドリを発見。5時過ぎにムクドリはみんな帰りに帰りコムクドリだけが5羽取り残された。そのうち2羽が飛び去り、6時過ぎて暗くなっても3羽は、電柱に取り付けてあるコの字型の機械の上に寄り添っていた。 ・9時過ぎに確認した時もまだ居た。今夜はここにお泊りだと思い翌朝楽しみにしていたが、鳥のほう早起きで私が5時に起きた時には、もう飛び去っていた。	Eブロック
28	コゲラ	・かなり涼しい朝でした…この日は、いつもいるはずの「オナガ」と1回も会わなかった、反面「コゲラ」が数ヶ所にいた。 ・団地の中の公園で、高い木の上でせわしなく動く「サメビタキ」に良く似た鳥を見つけたが、体長はメジロ位で小さく、鳴き声も確認できず判別できなかった。	Dブロック
28	カワセミ	・日曜の午後であったので公園は人が多く観察には不適合。 ・閉園近く人が少なくなった時にカワセミを観察できた。	Cブロック
28	ヒヨドリ オナガ	・少し気候が良くなってきたせいか、ヒヨドリの鳴き声が元気になってきたような気がしました。 ・夏の間、小さな公園にオナガが多かったのですが、あまり見かけなくなってきました。 ・ワカケホンセンインコ5羽（神社）。	Cブロック
29	コサギ バン	・22日の下見の時は6種しか確認できず。どうなることかと心配でしたが、コサギ・バンが出てくれて10種になり、ほっとしました。	Cブロック
30	スズメ	・爽やかな秋晴れである。スズメが木犀の枝の中、今を盛りとして強い香りを満たしている花をつついている。 ・別の場所では萩の穂にとまってそれをつついていた。 ・すぐ下の乾いた赤土にはえぐられた窪みができていて、まだ羽の生え変わらない幼鳥が盛んに砂浴びをしていた。	Dブロック

平成26年9月(繁殖行動確認)

観察日	種 名	確認場所	繁殖と判断した根拠	観察者 (敬称略)
15	スズメ	梅島西公園	幼鳥のスズメ達が餌をついばんでいました。	Dブロック
15	スズメ	ベルモント公園	幼鳥のスズメ達が餌をついばんでいました。	Dブロック

平成26年11月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
3	ムクドリ	・今日は晴なれど風が強く雲も多かった。16種観察されたが、鳥の数が少ない。 ・高圧線にムクドリが群れていたが、河川敷には全くいなかった。 (2014. 11. 3 9:05～)	Aブロック
4	イソシギ カワウ	・晴天無風、鳥影は薄かった。川面、グラウンドにほとんど姿が見えなかった。 ・イソシギのペアが川岸に散見された。川面に一羽のカワウ。 ・カラスは上空でくちばしの細・太は確認できず。ドバト10羽。	Bブロック
5	ヒヨドリ オナガ	・あちこちでヒヨドリの声は聞こえるが、木の中にいるため姿見えず。観察開始の時は雲が多く、弱い北風が肌寒く感じられた。 ・ドバトが、公園のラジオ体操の人達を避けて、マンションのひさしの上や電線に避難しているのが可笑しかった。 ・8時20分頃から10分ほど鳥の声も姿も無くなった。食後の休憩時間か、雲が厚くなり日差しがなくなり、寒さで空気が重くなった感じで、少々不気味に感じた。その後、遠くでカラスの鳴く声が聞こえたので、単なる偶然だったのかもしれない。全体的に鳴き声の感じでは、ヒヨドリもオナガももっと居た筈だが姿を確認できなかった。 (確認種数も少なめだった。)	Eブロック
8	ジョウビタキ ハシボソカラス キジバト スズメ ツグミ モズ	・今朝は厚い雲におおわれて何となく暗い朝です。調査地点に入るなり変ったさえずりをする鳥を確認。早速双眼鏡で見るとジョウビタキの女の子でした。 ・これは幸先の良いスタートが切れたと思いましたが、いつも最初に見られる、ハシボソガラス、キジバト、スズメが少なく、飛び交う鳥達が高い空で移動しています。 ・始めは少ない個体数でしたが、段々と普段のように数も増えてきました。 ・冬鳥のツグミは木の枝の中で、モズは、各地点の5ヶ所で観察が出来ました。 ・いつも観察出来る地点で、オナガの姿が見られませんでした。 ・大池には、冬鳥が増え始めていますが、アイガモが皆成鳥になり数を取る私には邪魔です。今回は数を取りませんでした。	Cブロック
9	ジョウビタキ ツグミ ヒヨドリ	・紅葉の桜の木の枝にジョウビタキが留まっています。絵になります。 ・対照的にアパートのアンテナに留まっているツグミ発見。 ・鳴き交わしながら飛び交うペアのヒヨドリを含めヒヨドリ達の元気な朝でした。	Dブロック
9	モズ ムクドリ スズメ ヒヨドリ	・日差しのない寒い朝でしたが、思いがけなく虫の声を聞くことができました。 ・モズの声は近くで聞くことが出来ましたが、姿は見えませんでした。 ・ムクドリ、スズメ、ヒヨドリを多く見かけました。	Bブロック

平成26年11月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
14	チョウゲンボウ	・扇大橋近くの池？で今回はカワセミを確認できませんでした。 ・チョウゲンボウは昨年の報告と同じ様に扇大橋上流の枯れ木を支持？している竹の先に止まっていました。 ・多分これとは別の個体と思われるチョウゲンボウが調査開始時に江北橋上流の高速道路の五色桜大橋？の橋桁にも止まっていて暫くすると上流に飛んで行きました。（カウント外）	Bブロック
15	キジバト	・我が家の庭の木に2度目のキジバトの繁殖。幼鳥2羽。	Bブロック
15	カルガモ	・川沿いの道は、大変気持ちよく、調査員の方をうらやましく思いました。毛長川のカルガモ達が親水公園の水路にやって来るのがよくわかりました。生態系のネットワークの大切さを思い知らされました。	Cブロック
15	オナガガモ ヒヨドリ	・オナガガモが来る季節は落葉の季節。公園は落葉がいっぱい！ ・クスの木に集まり神経質に鳴きわめくヒヨドリは黒く熟した実を食べてるようだ！	Eブロック
15	スズメ ムクドリ	・カラスがしきりに上空高い所を飛び、荒川を超え五反野駅の方へ飛んで行く。みな同じ方向へ飛んで行く。 ・今日はスズメやムクドリなど、いつもよく見る鳥が少なかったです。	Aブロック
15		・川は、東京拘置所脇の水路。 ・私の調査ルートの「他」には、庭付きの古い家が多くありました。ここ数年で庭なしの家に建替えられ、木の実や巣を作る場所も減った様に思います。	Dブロック
15	ヒヨドリ ジョウビタキ	・北西の風が冷たかったですが、眩いばかりの素晴らしい青空です。富士山はもとより日光連山も見ることが出来ました。 ・干潟も出ていたのですが、鳥は少なくヒヨドリの声ばかりが耳に飛び込んできます。 ・ツグミを期待したんですが、まだ早かったようです。ジョウビタキの雄がきれいでした。	Aブロック
15		・千住桜木町公園から下ると隅田川の遊歩道に降りることができます。ここは川幅も広く流れがゆっくりしていて、水が綺麗だったら水遊びがしたくなる場所です。 ・春夏は何もいなかったですが、今日は対岸に陽が暖かそうにあたっていて双眼鏡を覗いてみたくなりました。そしたらカモの群れが頭を背中に突っ込んで、横一列に休んでいました。 ・ちなみに彼らがいた場所は荒川区になります。荒川にいない隅田川の堤防上でたくさん見られたことが、面白かったです。	Aブロック
16	ヒヨドリ ハヤブサ	・ヒヨドリ…常緑樹の中で騒ぐヒヨドリ。何羽いるのか、カウントがむずかしい。 ・ハヤブサ…今年は10/27が初見。調査日の今日も「学びピア21」に来ていた。	Aブロック

平成26年11月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
16		・確認場所の、「他」は庭です。晴れた寒い日でした。	Eブロック
16	オナガ	・中川土手では、野鳥の動きが活発でした。オナガの群れが対岸（葛飾区）との間を移動していました。 ・毎年越冬に来るヒドリガモ、ユリカモメは中川にいますが、調査日には上流へ移動したようで、姿が見られませんでした。	Eブロック
16	ヒヨドリ コゲラ シジュウカラ メジロ	・「ピーヨピーヨ」と何処でもヒヨドリの声ばかりが際立っていました。 ・最終観察地、花畑公園で、コゲラ、シジュウカラ、メジロが賑やかに勢揃いしました。	Dブロック
17		・冬鳥が出揃ったわけではないが種数が増えてきました。	Aブロック
17	オナガ ムクドリ	・オナガ、ムクドリが減ってきた。ムクドリについては、我が家周辺の電線に夕方群れ集まる。	Eブロック
19	メジロ シジュウカラ チョウゲンボウ	・メジロとシジュウカラが混群だった。 ・猛禽類が梅田5丁目稲荷公園のヒマラヤスギのてっぺんにとまる。写真はありますが、画質が悪いです。顔は見えませんでした。色・羽の模様から、チョウゲンボウかと思われます。（後日写真を確認、チョウゲンボウとして計上）	Bブロック
21	ウグイス	・10種を確認しました。中にウグイスの声が含まれ、冬鳥の季節が来て、落葉と合わせてバードウォッチングが楽しくなってきます。	Dブロック
22	ツグミ ジョウビタキ	・今年、初めてのツグミを見る事ができ、ジョウビタキの声も聞くことができました。冬鳥の季節ですね。	Eブロック
22	スズメ	・小春日和の気持ち良い天候の中での調査でした。7種の確認。 ・餌のある場所が限られてきたのか、スズメの群に会いました。 ・足立区内唯一の田んぼが無くなり、跡地に工事がはじまりました。	Dブロック
23		・いつも観察できるキジバトが確認できなかった。	Bブロック
23	スズメ ムクドリ ハクセキレイ モズ メジロ	・調査地域は公園4か所と河川敷がある。空高く晴れ。それぞれの紅葉は幹や枝の色と一体となり一層美しい。 ・スズメとムクドリが多く時々ハクセキレイの声が響く。 ・モズ、メジロにも会えた。	Aブロック

平成26年11月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
23	アオジ ウグイス	・この2・3年、アオジを見かける事が少なくなっていたが、今日は3か所で見られた。うれしい限りです。 ・10月27、28日とジョウビタキの声をきいた。姿は見えなかったが今年も来てくれたと楽しみにしていたが、その後は声も姿もなく、今日の調査でも会えなかった。 ・11月23日、今日の調査ではウグイスに会えなかったが夕方隣の庭からチャチャという声がしばらく聞こえてきた。	Eブロック
23	ウグイス アオジ	・千草園でウグイスを見る。観察以来2度目。 ・堀切橋近くのアシ原が刈られ釣りの人達がいたが、少なくなったアシ原にアオジ2羽来ていた。	Aブロック
23	ツグミ ジョウビタキ	・公園にて、ツグミを見ることが出来ました。 ・古民家、足立区の指定文化財の家の木にジョウビタキ1羽も見つけました。 ・カラスの数は、減って来ていると思います。	Dブロック
27	ムクドリ ヒヨドリ メジロ ジョウビタキ ハクセキレイ	・雨上がりの小春日和の朝です。柿の実がなる場所には必ずムクドリかヒヨドリが群れています。樹上はほぼヒヨドリの天下になっています。 ・メジロは少女のおしゃべりのように何羽いるかわからないほどにぎやかに鳴き交わしながら枝先を飛び移っていました。 ・久しぶりにジョウビタキ♂を見ました。少し若いようで頭に白さが足りません。 ・隅田川で見たハクセキレイは1羽が顔に黄色みのある今年生まれの若鳥です。	Aブロック
29	ヒドリガモ コガモ シジュウカラ メジロ	・11月も最後の土曜日となってしまった。 ・雨の予報でしたが調査開始。花畑運河にヒドリガモ、コガモ等の冬鳥が飛来してくれたのが嬉しかった。 ・公園では、シジュウカラやメジロを楽しんだ。	Eブロック
30	ヒヨドリ オナガ ツグミ メジロ	・少し気候が良くなってきたせいか、ヒヨドリの鳴き声が元気になってきたような気がしました。 ・夏の間、小さな公園にオナガが多かったのですが、あまり見かけなくなってきました。 ・今季初めてツグミの姿を見ました。まだ到着したばかりなのかすごく敏感でした。 ・また、メジロも多く見られ、ヒヨドリたちも活発になって大きな声で鳴いている姿を多く見られるようになってきました。 ※ワカケホンセイインコ11羽（神社）	Cブロック

平成27年1月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
3	オオバン ユリカモメ	・快晴の上、正月三が日で人出が少ないせいか、今年度最多の種類、数を確認。 ・いわゆる水鳥、カモの類が少なく意外だった。オオバンが目立った。 ・ユリカモメの大集団が日なたぼっこ。ドバトの120羽以上の群に驚いた。	Bブロック
3		・晴れた寒い日でした。風はなかったです。	Eブロック
3	カルガモ マガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ ヒドリガモ キンクロハジロ ユリカモメ カワウ	・今朝は晴れていて寒い。池は氷り、霜柱が方々で見られた。河川敷では自転車倒れる程風が強く、目から涙が止まらない。 ・今日は25種が観察された。小鳥が少なかったが、一方でカモ類が7種（カルガモ、マガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ヒドリガモ、キンクロハジロ）と多くみられた。 ・ユリカモメが20数羽高圧線に止まっており、カワウ50数羽が上空を飛びかっていた。 ※参考：昨年12月2日に荒川右岸、鹿浜橋下流のアシ原でキジ1羽が観察された。	Aブロック
4	スズメ メジロ ムクドリ ツグミ ヒヨドリ	・空き家の熟れた柿の実に、スズメ・メジロ・ムクドリ・ツグミ・ヒヨドリ等が、群れて食事していた。	Bブロック
4		・1月25日（調査日外）、この冬はアカハラ、シロハラ、シメ等が見られないと思い、圀川沿いを歩きに行った。 ・ジョウビタキ、シジュウカラ、アオジ、イソシギ等は出会えたが、アカハラ、シロハラは見る事が出来なかった。 ・2時間ほどの散歩で帰ってきたら、隣家の庭の梅の木にアカハラがとまっていた。今年も逢えた。	Eブロック
5	オオバン	・オオバンの群れを発見。河川敷に上がりたむろしていた。近づきすぎて、川に入られてしまう。	Aブロック
8	スズメ ムクドリ メジロ シジュウカラ カワラヒワ	・明るくなるのを待って、6時半過ぎ観察開始。木の枝に止まっているスズメの群れと、電線や木の枝のムクドリの群れが目立った。 ・陽が高くなり始めて、メジロが山茶花の植え込みに群れているのが何か所で見えた。一か所、メジロの群れの中にシジュウカラとカワラヒワが混ざっていた。 ・開始時には西の空高めに18日めの月が明るく輝いていたが、7時45分には、やや低く、薄氷が水に溶けてゆくような感じで見えていた。 ・8時少し過ぎ、畑の中のバケツの水が凍っていた。寒い訳だ。 ・西の風がやや強くなり始め、寒さが太陽の光の暖かさを超え始めたころ予定数分前だが終了。	Eブロック

平成27年1月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
8	オナガ ハクセキレイ ムクドリ メジロ	・公園の木や草地にオナガが飛び交っているので、良く見たら落ちて いるパンの切れ端がお目当てでした。 ・群がってつついているので、ハクセキレイが少し離れて様子を伺 い、ムクドリが3羽割りこんでつついていました。 ・4分の1枚ほどのパンだったが、ちょっとの間にきれいに無くなって いました。 ・綾瀬川と毛長川が合流する近くの土手に、高い塀が設けられ、視 角と通行が阻まれています。 ・鳥の影は全く無く、木は根本から切り倒され、低木も草も刈り取ら れて更地にされていました。 ・桜の大木も根迄ひっくり返されて無残な姿をさらしています。豊 かな自然の一角がまた崩されてしまいました。 ・胸の痛むような光景を川をはさんだ反対側から目にしたときは、本 当に残念で悲しい気持ちになりました。 ・人家の前に置かれた植木鉢と奥の庭の椿の枝の中に、飛び交うメ ジロを見たときはうれしくてしばらく立ち止まって観察しました。	Dブロック
10	アカハラ	・アカハラは佐野の森の脇の空き地で土掘りをしていました。 ・ゴルフ練習場の鉄塔に、久しぶりにワカケホンセイインコを見つけ ました。	Eブロック
10	カルガモ	・川は、東京拘置所脇水路と辺り、外は民家、公園は五反野コミュニ ティ公園。 ・今朝は快晴、陽の光がまぶしかった。	Dブロック
10	モズ キジバト ハシボソガラ ス ツグミ ムクドリ スズメ	・快晴の空、風も無く絶好の調査日です。 ・しかし、手・足の先が冷たく吐く息が白く見える寒い朝です。 ・早速バーベキュー広場で目の前を横切ったのは、ジョウビタキかモ ズか木の天辺に止まったのはモズでした。 ・霜のおりた枯草の上で餌を取るキジバト、ハシボソカラス、ツグ ミ、ムクドリ、スズメを数多く見ることが出来ました。 ・大池のカモ類は、池の水面に少なく、ヨシの中にいるのでしょ うか。 ・いつもより個体数が少なく感じられました。	Cブロック
11	チョウゲンボ ウ オオバン	・チョウゲンボウ…番行動。 ・学びピア21に来るハヤブサ、時折り見かけるが今日は姿なし。 ・オオバン…今年は個体数が多いようだが、この地域で25個体、記録 でしょう。	Aブロック
11	スズメ	・スズメ達、いつもは歩道や草原の中にも見ることができのですが、 今日は最初に5羽見かけた後は調査の途中1羽も見かけることはあ りませんでした。 ・不思議に思いながら、終わりに近い高速道路の下に着いた時スズメ 達の大合唱にホッとしました。 ・沢山のスズメ達は可愛らしくお花が咲いているように見えました。	Bブロック

平成27年1月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
11	オナガ ツグミ ジョウビタキ	・風もなく、雲一つない青空の中、独特の鳴き声高々と舞うオナガ達、うれしい朝です。 ・ピンクの花をつけたサザンカの垣根に、ツグミ2羽が顔を寄せ合うように留まっています。 ・毎年見られるジョウビタキも元気です。然し数、種類共に少ないです。	Dブロック
12		・畑や空き地だった場所、4か所が宅地や駐車場になっていました。 ・屋敷林も減り、児童公園なども野鳥の餌になる木の実が無く、虫も居ないようで、野鳥の声もあまりしません。静かな住宅地に変わってしまいました。 ・1月1日、飯塚橋付近で、カンムリカイツブリが盛んに潜水を繰り返していました。このあたりでの観察は初めてです。 ・2日にはもう移動していませんでした。	Eブロック
13	スズメ メジロ モズ	・朝7時はまだ薄明の名残りの空で、梢に群れるスズメも動きがなく「ふくらすずめ」で数えやすい。 ・シティヌーヴの公園では植え込みのコンクリート壁にキツツキのように垂直に止まっているメジロのつがいを見た。何をしているのかわからないが、あんなとまり方をしているメジロを見たのは初めてだった。 ・閑屋町公園ではモズのメスを見た。まわりが高層マンションなので双眼鏡でじっくり見るのは少しはばかれる。長い時間じっとしてしてくれたので、バックに窓が来ない位置まで自分が移動して観察した。	Aブロック
13	メジロ ヒヨドリ ムクドリ スズメ	・民家の木に設置したミカンなどに、メジロ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、合計30羽ほど集まる。	Bブロック
13	カワセミ ウグイス	・この1カ月は毛長川のみ観察して過ごしました。同じ場所でも、日時によって見られる種が違うことは承知していましたが、体感しました。 ・調査日は、珍しくカワセミやウグイスに会えてラッキーでした。ただ、今季まだオオジュリンの姿を見ていないのが気がかりです。	Cブロック
13	トビ ハシボソガラス	・快晴で絶好の野鳥観察日和りで、種類も数も期待通りでした。 ・荒川の上空で初めてトビを確認しました。ハシボソガラスが迎撃に飛んで行き追い払い、対岸から隅田川方面に飛び去りました。	Bブロック

平成27年1月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
14	ツグミ オオジュリン ヒバリ スズメ	・堀切橋近くの土手に上りいつも河川敷を一望。 ・ツグミの姿を確認するが、駐車場とサッカーコートが整備されたから草地がなくツグミの姿はない。かろうじて土手に1羽認められた。 ・アシ原が少なくなりオオジュリンの飛来を気にしていたが、2羽認められた。 ・既設護岸の修繕（3月31日迄）が行われており、少なくなった河川敷の草地に6羽のヒバリがいた。 ・千寿桜堤中学校前の河川敷では、昨年生まれたのかスズメ28羽が集まって餌をついばんでいた。	Aブロック
16	オナガ ムクドリ	・昨日の雨で出来た桜の根元の水たまりでオナガが水を飲み、その後にムクドリが来て水を飲んでた。	Eブロック
16	ハシボソガラ ス ムクドリ	・水の中で餌をつつくハシボソや餌をくわえて移動するムクドリなど朝らしい状景と芽吹きはじめた樹々に春を感じました。	Cブロック
17		・平成26年12月7日、我が家の前にある電柱（西加平（区画整理工事中））にチョウゲンボウが止まった。草地において「エサ」をとっていた。	Eブロック
17	ベニマシコ モズ	・堤防工事中で、立ち入り禁止で調査できない区域が多かった。 ・西新井橋と扇大橋の中間位にある草地で、ベニマシコの雌が3羽で採食していた。 ・扇大橋～西新井橋の中間位にある草地にモズの雄がいた。 ・平成24年度の11月・1月及び平成25年度の1月の調査時にも、ほぼ同じ場所でモズの雄を観察しているため、同じ個体かもしれない。 ・もう1羽は、なわばりのせいかな、かなり離れたパークゴルフ場にいた。	Bブロック
19	コゲラ	・公園につくと「ギューッ ギューッ」とこの近辺で今までに聞いたことのない鳴き声がする。コゲラがいる…？コンコンと樹をつつく音の方を探すと移動するコゲラがいた。 ・雄か雌か見分けようとしたが素早く不可能。環境の変化か一時的なものか変化を見ていきたい。 ※工事中：江北橋耐震補強工事（落橋防止及び橋脚補強）平成27年5月末まで。	Aブロック
19	ウグイス	・河原にウグイスの地鳴きを聞く。	Bブロック
21	メジロ	・1月もおしつまった土曜日、寒い朝でしたが、メジロが山茶花の蜜を求め活発に動きまわって可愛かった。 ・13種の鳥果は私のエリアではまあまあで楽しい調査でした。	Eブロック

平成27年1月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
24		・全体に鳥は少ないのですが、河川敷ではたくさんの種類を数えることができました。 ・ベニマシコの姿を見ようと頑張りましたが、ダメでした。声のみ2箇所から聞こえました。	Aブロック
24		・中川土手、3丁目から常磐線橋脚まで、堤防嵩上げ工事の為、通行止め（立ち入り禁止）になっており、調査ができませんでした。	Eブロック
24	ツグミ	・8種を確認しました。ツグミが庭に飛来して感激しました。	Dブロック
24	ヒヨドリ	・季節は、大寒中の一年で最も寒い時にあたるが、風が無くおだやかな天気であった。 ・9種、42個体の確認はまずまずの成果と思う。 ・ヒヨドリの鳴き声ばかりが目立っていた。	Dブロック
24	スズメ	・年度末を控えどこもかしこも工事中です。隅田川ではいつ終わるとも分からないスーパー堤防の工事をしていました。 ・今回観察時間が遅かったからか、住宅地のスズメをあまり見ませんでした。	Aブロック
25	ヒドリガモ オオバン	・新荒川の対岸に40羽近いヒドリガモが休んでいた。 ・その横10数メートル離れた所にオオバンが同じ様に群れて休んでいた。川岸の斜面の風景だった。	Cブロック
25	スズメ カワラヒワ	・電線に並んだ10数羽のスズメ…と見上げた瞬間、チリリリ〜とさえずり、次々と飛び立ってしまった。カワラヒワでした。 ・冬鳥は不作で、コゲラは0、川はゴミが流れていました。	Dブロック
27	ジョウビタキ	・数は少ないですが、12種類の鳥を見る事が出来ました。 ・この時期いつも見られるジョウビタキを、今年も神社で観察出来て良かったです。	Dブロック
29	ヒヨドリ	・寒中咲く花の少ないこの時期であるが、開花したろう梅をヒヨドリがつついていた。	Dブロック
30		・雪が降った影響なのか、鳥の数が少なく感じました。 ・いつも公園やお寺にいるオナガの姿が見えず、川にもカモ類たちの姿も見えませんでした。	Cブロック

平成27年3月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
4	ヒヨドリ スズメ ムクドリ オナガ カラス キジバト	・霧雨が少し残っていたが、天気予報を信じて出発。気温4℃、北西の風冷たい。昨晚からの雨で、鳥達はどんな様子か。 ・先ず、ヒヨ・スズメ・ムクの小群に会う。今回は、オナガ・カラス・キジバトもペアか群れが多かった。春を感じているのか。 ・谷中公園で、ドバト28羽の群れに野良猫が忍び足で近づいて行くが、ハトが微妙に間をとって移動するので、猫が諦めて離れて行くのを見た。 ・8時過ぎになり、いつものように鳥の声が少なくなったと感じていたら、騒がしい声、北三谷公園の2.5m程の1本のウバメガシから50羽以上のスズメが飛び出してきて、近くの高木の枝に移動して鳴いていた。勝手に鳴いているようだが、何か打ち合わせしていた感じ。 ・明るくなると、いつもなら沢山見えるメジロ・シジュウカラが今日は見えなかった。雨のせいかな？年度末の調査なのに少し淋しい気がする。	Eブロック
5	ホシハジロ オオバン	・荒川にホシハジロが3羽いた。この近辺の荒川はオオバンは見かけるが、カモ類を見るのは久しい。	Aブロック
5		・河川敷2ヶ所で土木業者の土砂搬出入のダンプ出入有り。	Bブロック
5		・梅が満開、モクレンの蕾も主張をはじめ春となりました。鳥の種類も増えたようです。	Cブロック
6	オオバン	・堀切橋近くに2～3羽いるオオバンが、いつもいるヒドリガモの場所を30数羽で占有し、河川敷に上がり餌をついばんでいた。	Aブロック
6	ヒヨドリ メジロ オナガ	・満開の白梅の枝の間を器用に鳴き声高々と飛び抜けるヒヨドリが元気です。 ・メジロも可愛いです。杉の屋敷林の周りを鳴き声たてず優雅に舞うオナガ達の対照的な風景が楽しめた朝でした。	Dブロック
6	スズメ オナガ ハシボソガラス	・曇時々霧雨という観察にはあまりよくない天候だったが、花粉症の私にはありがたい。暗いので識別しにくいといけなないので大きめの双眼鏡を持って行った。 ・街には梅や早咲きの桜などが春を告げている。メジロが見られると思っていたが全く見えない。代わりにスズメが元気だ。 ・未来大学のまわりにオナガが群れていて近づいてもあまり逃げない。旧綾瀬川の脇にある都のポンプ所のシュロの木でハシボソガラスが妙な動きをしているので近づくと、シュロの繊維をくわえて飛び立った。産座にするのだろうか。とすれば、もう巣はほぼ完成ということになる。人目のないところで穏やかに子育てしてくれと祈るばかりである。	Aブロック

平成27年3月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
7	カワウ ムクドリ チョウゲンボウ	・小雨の中での調査でしたが、思いのほか小鳥たちは多く、特にカワウ、ムクドリは多くいました。 ・チョウゲンボウは2羽同時に現れ、いつもの風景に嬉しく思い楽しい調査になりました。	Bブロック
7	メジロ シジュウカラ コゲラ シメ ツグミ	・大谷田公園はウメ・サンシュユが見事に満開で、良い香りがしていました。 ・混群に会いました。20羽ほどのメジロとシジュウカラ、コゲラが賑やかに移動して行きました。 ・あまり野鳥がいない児童公園（五丁目公園）ですが、この日はシメ、ツグミ、シジュウカラなど、かなりの種類の野鳥が観察されました。	Eブロック
8	ハシボソガラス ハシブトガラス シロハラ	・小雨の中の観察になり、あまり成果は期待できなかった…ハシボソガラスが巣材を運ぶ姿を2ヶ所で確認。気のせいかハシブトガラスの方がめっきり少なくなった様な…。 ・今回、初めて“シロハラ”を確認。やはり“新種”に出会えるとワクワクする！！	Dブロック
9		・今にも雨が降りだしそうな天気。遊歩道は春の花が咲き揃ってきましたが、例年より遅く感じられます。 ・私のフィールドで7本ほどあるミモザアカシアも、咲いていたのは1本だけ。六木水の森公園のコヒガンザクラもまだ一輪も開いていなくて…でもあちこちの河津桜は満開でした。 ・鳥は15種。さびしい調査でした。	Eブロック
9		・千住新橋北側のワンドにカモの類が多くいた。数は少なかったが、シギ、サギの種類がいろいろいて面白かった。ドバトの群れが多数いた。	Bブロック
9	ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ	・民家に設置したエサ台にヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、スズメ合計40羽ほど集まる。 ・ヒヨドリが民家の庭、ベランダのウメの花に。花の蜜に来ているよう。	Bブロック
10	スズメ	・3月の土、日は雨ばかり。久し振りの晴間に調査を始める。公園の柳が、ほんの少し色づいて来た。 ・ひいらぎ南天の黄色い花に鳥数も少なく今日はスズメの調査のようだった。	Eブロック
10		・川端第二公園に遠方から「マヒワ」と思われる群れ（15羽位）を認めたがすぐ飛び去ったため確認できなかった。 ・多くの鳥が「ツガイ」となっている様子がうかがえた。 ・1月につづいて今回もジョウビタキが見られなかった。我が家の庭には毎日来るのだが。	Eブロック

平成27年3月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
10	スズメ セグロカモメ	・7日（土）に観察しようと思っていましたが、雨になり平日の観察となりました。 ・昨夜は一時激しく雨が降りしかも寒い一日でした。今日は北西の風が強いですが、雲4割、晴れ間6割というところです。 ・緑町の倉庫街は既にトラックが動き始めていて、いつもいるスズメも少なかったです。 ・千住桜木公園前の隅田川は蛇行しながら川幅が広がっていて、餌になる漂流物が多いのかカモメやカモがよく集まります。今回もセグロカモメの群れが見られました。 ・ツバメの初認も期待しましたが、まだ早いようでした。	Aブロック
10	メジロ	・メジロが多く観察出来ました。寒いせいか、昨年より数、種類は少なかった。	Dブロック
10	コサギ	・今朝は、鳥が少ない。この所、天候不順の日が多く、今朝は久しぶりの晴、風が強い。 ※川は拘置所脇の水路。コサギは、五反野コミュニティセンター脇の水路。	Dブロック
10		・雨上りの快晴。午後からは強風が吹いた日です。 ・2月中、日によってはカモ類が少なかったですが、この日はまずまずでした。 ・調査日ではありませんでしたが、2/16にゴイサギ成鳥1羽を観察。私は毛長川で初見です。	Cブロック
11		・昨日の大荒れの天気から一転、晴天になった朝、夜中はそうとう冷えたようで、畑には長い霜柱がびっしり立っています。 ・でも、日光は春の日差し。鳥達はペアになって繁殖の準備に入っています。 ・ワカケホンセイインコもペアになっていて、自然に繁殖しているようです。	Eブロック
11	ジョウビタキ ハシボソガラス スズメ	・ジョウビタキ1羽。昨日の冷たい雨、風の後、朝冷え込みは厳しかったが、陽ざしが暖かい。 ・ハシボソガラスがケヤキの木に巣づくりをはじめていた。 ・スズメも電柱に2羽連れ立っての姿を多くみかけた。	Dブロック
11	ツグミ バン	・南風がかなり強かったのですが天気は上々で快適で、種類も数もそれなりに観察できましたが、いつもいるヒヨドリが見えませんでした。 ・ツグミが河川敷に少しづつ集結しつつあるように感じました。 ・バンはいつも観察できる鉄塔下のガマ、アシの茂る池で声だけですが確認できました。	Bブロック
11	ウグイス ヒバリ ツグミ	・快晴、風強く寒い。土という土に霜柱。ぬれた道路はシャーベット状態。 ・風が強いせいか個体数が少ない。しかし24種観察された。 ・調査の翌日、調査地域を散歩。昨日に比べておだやか。ウグイスとヒバリの初鳴を聞く。 ・ツグミ：歩を進める毎に視野に入る程多くのツグミが群でまたは単独で観察された。	Aブロック

平成27年3月（観察記録）

観察	種 名	観 察 記 録	観察者 (敬称略)
11	メジロ ヒヨドリ カワウ	・ほころび始めた早咲の桜の枝にメジロがぶら下り蜜を吸っていた。 ・芽吹き出した柳の木にヒヨドリが16羽集まっていた。 ・2月21日12時頃公園の池にカワウを見つける。水中に潜って大きな魚（へら鮒か鯉）をくわえて水面に出るも大き過ぎて離れた。調査を始めてから初観察。	Eブロック
14	ハシブトガラス	・ツバメの初認を期待しましたがダメでした。河川敷にハシブトガラスの群れがいましたが、ホームレスさんのあげている猫の餌に集まっているように思いました。 ・シダレヤナギの新芽が美しい。戸田橋近くでヒレンジャクが柳の新芽を食べていた光景を思い出しました。ここにはいませんね。	Aブロック
14	ムクドリ ヒドリガモ ヒバリ ウグイス	・都市農業公園ではムクドリが多く目立った。ヒドリガモは新荒川で確認された。 ・今日新田の土手ではヒバリがさえずり、ウグイスのさえずりも聞かれた。	Cブロック
14	ムクドリ スズメ シジュウカラ ウグイス コガモ オナガガモ	・梅も咲き、早咲の桜もほころび始め、朝日は力強さを増して来ました。野鳥達も春を感じ、繁殖の準備を始めました。 ・ムクドリ、スズメ、シジュウカラ等は集団から小単位になりつつ、大池のヨシの中からウグイスが鳴いています。 ・冬鳥のコガモの数も少なくなりつつ、オナガガモはめっきり少なくなりました。もうすぐ冬鳥達は北へ旅立って行くのでしょうか。	Cブロック
14	カンムリカイツブリ ウグイス	・堤防工事中で、立ち入り禁止で調査できない区域が多かった。 ・カンムリカイツブリが、荒川で潜ったり出たりを繰り返していた。 ・葦原の中でウグイスがさえずっていたが、その声は「ホー ポケツ」と聞こえた。	Bブロック
15	シメ カルガモ ハシボソガラス	・いつもいく小さな公園で、シメやカルガモの調査を始めてから初見になりました。 ・ハシボソガラスが細い木の枝を咥えているのを見つけ、巣作りを始めたようでした。	Cブロック
17	ウグイス	・良く晴れて春らしい暖かい日でした。 ・帰りに通った大谷田公園でウグイスが鳴いていました。担当区域ではないため数には入れていません。藪の中にいて姿はチラッとしかみえませんでした。	Eブロック
21	ヒヨドリ ウグイス	・ヒヨドリの鳴交わす声ばかり目立ちましたが、畑の藪の中からウグイスのチャッ、チャッと鳴く声が聞こえてきました。 ・春到来の季節ですが、ホーホケキョの練習をしていない個体もいるのかと感じました。	Dブロック

資料編

資料 1

平成26年度 野鳥モニター名簿・担当地域（五十音順・敬称略）

No.	氏 名	担当地域	
1		E	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
2		E	神明南一・二丁目、北加平町
3		E	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
4		A	宮城全域（河川敷含む）
5		D	保木間一～三丁目
6		B	興野二丁目、扇三丁目
7		E	東和全域・谷中公園
8		A	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
9		D	梅島一～三丁目
10		D	花畑三～五丁目
11		E	神明一～三丁目、六木三・四丁目（堀川、中川含む）
12		B	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）
13		B	鹿浜橋～熊の木（荒川左岸河川敷）
14		B	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
15		B	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷左岸）
16		E	大谷田一丁目
17		A	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
			千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町、千住橋戸町、千住宮元町
18		D	西保木間一～三丁目
19		D	保木間四～五丁目
20		A	新田全域（荒川右岸河川敷含む）

No.	氏 名	担当地域	
21		C	西竹の塚二丁目、東伊興二・三丁目、伊興本町一・二丁目
22		C	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
23		E	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
24		C	舎人公園
25		D	花畑六、七、八丁目
26		A	西新井橋～千住新橋（荒川河川敷右岸）
27		A	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
28		E	東綾瀬公園
29		C	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
30		A	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
31		B	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
32		E	大谷田二（中川含む）～五丁目
33		D	島根全域
34		B	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
35		D	西綾瀬全域
36		E	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
37		B	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
38		C	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目

資料2 調査月別確認種と個体数

N0	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	0	0	6	104	195	422	727
2			マガモ	0	0	0	0	4	0	4
3			カルガモ	93	130	103	118	136	107	687
4			ハシビロガモ	0	0	0	2	10	2	14
5			オナガガモ	0	0	0	88	176	91	355
6			コガモ	0	0	0	53	78	61	192
7			ホシハジロ	0	0	0	0	7	28	35
8			キンクロハジロ	0	0	0	0	34	12	46
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	0	1	0	3	2	7
10			カンムリカイツブリ	0	0	0	0	0	1	1
11	ハト	ハト	キジバト	85	104	96	81	127	122	615
12	カツオドリ	ウ	カワウ	68	45	57	102	311	159	742
13	ペリカン	サギ	ゴイサギ	0	2	0	0	0	1	3
14			アオサギ	7	16	15	16	12	12	78
15			ダイサギ	6	5	15	6	9	4	45
16			コサギ	6	3	12	4	8	4	37
17	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	1	1
18			バン	8	5	4	2	6	10	35
19			オオバン	0	1	0	59	188	218	466
20	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	12	2	0	6	0	0	20
21	チドリ	チドリ	コチドリ	4	1	0	0	0	1	6
22			メダイチドリ	6	0	0	0	0	0	6
23		シギ	タシギ	0	0	0	0	0	6	6
24			チュウシャクシギ	7	0	0	0	0	0	7
25			キアシシギ	8	0	0	0	0	0	8
26			イソシギ	7	5	26	13	10	11	72
27		カモメ	ユリカモメ	0	0	1	238	449	160	848
28			ウミネコ	0	4	48	6	10	5	73
29			カモメ	0	0	0	0	0	6	6
30			セグロカモメ	0	2	0	7	40	55	104
31			オオセグロカモメ	0	0	1	0	0	1	2
32			コアジサシ	12	0	0	2	0	0	14
33	タカ	タカ	トビ	0	0	0	0	2	0	2
34			オオタカ	0	0	0	0	1	0	1
35	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	2	2	0	1	2	7
36		キツツキ	コゲラ	5	0	5	4	3	6	23
37			アカゲラ	0	0	1	0	0	0	1
38	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	0	0	0	1	0	1	2
39			チョウゲンボウ	2	1	3	4	3	3	16
40	スズメ	モズ	モズ	0	1	6	16	20	10	53

N0	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計	
41	スズメ	カラス	オナガ	192	184	121	123	106	98	824	
42			ハシボソガラス	138	123	104	163	148	166	842	
43			ハシブトガラス	162	126	185	244	190	239	1,146	
44		シジュウカラ	シジュウカラ	48	64	113	124	111	96	556	
45		ヒバリ	ヒバリ	18	10	2	0	6	10	46	
46		ツバメ	ツバメ	143	171	13	0	0	0	327	
47			イワツバメ	26	29	0	0	0	0	55	
48		ヒヨドリ	ヒヨドリ	89	97	130	1,101	711	614	2,742	
49		ウグイス	ウグイス	0	0	0	7	6	7	20	
50		メジロ	メジロ	12	0	0	173	285	98	568	
51		ヨシキリ	オオヨシキリ	28	13	0	2	0	0	43	
52		セッカ	セッカ	2	2	4	1	2	2	13	
53		ムクドリ	ムクドリ	1,268	1,428	1,334	1,016	1,290	1,191	7,527	
54			コムクドリ	0	0	9	0	0	0	9	
55		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	0	4	4	8	
56			アカハラ	0	0	0	0	1	0	1	
57			ツグミ	4	0	0	31	230	365	630	
58			ジョウビタキ	0	0	0	20	16	6	42	
59			ノビタキ	0	0	1	0	0	0	1	
60			イソヒヨドリ	0	0	2	0	0	0	2	
61			コサメビタキ	0	0	2	0	0	0	2	
62		スズメ	スズメ	1,918	1,964	2,478	2,434	3,052	2,327	14,173	
63		セキレイ	キセキレイ	0	2	0	0	0	0	2	
64			ハクセキレイ	32	32	30	148	136	89	467	
65			セグロセキレイ	0	7	1	1	3	0	12	
66			タヒバリ	0	0	0	30	25	10	65	
67		アトリ	カワラヒワ	67	60	40	187	438	466	1,258	
68			ベニマシコ	0	0	0	0	5	4	9	
69			シメ	0	0	0	10	6	8	24	
70		ホオジロ	ホオジロ	0	1	0	11	19	12	43	
71			カシラダカ	0	0	0	0	4	0	4	
72			アオジ	1	0	0	14	41	51	107	
73			オオジュリン	0	0	0	12	38	149	199	
種名特定できず			カモSP	0	0	0	0	1	0	1	
			ハクチョウSP	0	0	0	0	0	4	4	
			サギSP	1	0	0	0	0	0	1	
			シギSP	0	0	0	0	0	1	1	
			カモメSP	0	0	0	6	3	0	9	
			カラスSP	16	4	0	16	6	0	42	
確認種個体数合計（羽）				4,502	4,646	4,971	6,806	8,726	7,541	37,192	

資料3 ブロック別確認種と個体数

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計
1	カモ	カモ	ヒドリガモ	252	54	228	0	193	727
2			マガモ	2	0	2	0	0	4
3			カルガモ	85	21	283	156	142	687
4			ハシビロガモ	0	0	12	0	2	14
5			オナガガモ	2	14	34	0	305	355
6			コガモ	117	19	52	0	4	192
7			ホシハジロ	32	1	1	0	1	35
8			キンクロハジロ	22	8	3	0	13	46
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	2	0	4	1	0	7
10			カンムリカイツブリ	0	1	0	0	0	1
11	ハト	ハト	キジバト	103	65	131	100	216	615
12	カツオドリ	ウ	カワウ	206	352	14	22	148	742
13	ペリカン	サギ	ゴイサギ	2	1	0	0	0	3
14			アオサギ	26	20	6	4	22	78
15			ダイサギ	13	16	6	1	9	45
16			コサギ	10	11	10	1	5	37
17	ツル	クイナ	クイナ	1	0	0	0	0	1
18			バン	2	2	31	0	0	35
19			オオバン	232	53	100	0	81	466
20	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	20	0	0	0	0	20
21	チドリ	チドリ	コチドリ	1	2	0	0	3	6
22			メダイチドリ	6	0	0	0	0	6
23		シギ	タシギ	6	0	0	0	0	6
24			チュウシャクシギ	0	7	0	0	0	7
25			キアシシギ	2	6	0	0	0	8
26			イソシギ	35	29	4	0	4	72
27		カモメ	ユリカモメ	349	212	13	3	271	848
28			ウミネコ	35	30	1	0	7	73
29			カモメ	0	6	0	0	0	6
30			セグロカモメ	40	10	5	2	47	104
31			オオセグロカモメ	2	0	0	0	0	2
32			コアジサシ	3	4	0	0	7	14
33	タカ	タカ	トビ	1	1	0	0	0	2
34			オオタカ	0	0	1	0	0	1
35	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	0	2	1	4	7
36		キツツキ	コゲラ	1	1	2	11	8	23
37			アカゲラ	1	0	0	0	0	1
38	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	2	0	0	0	0	2
39			チョウゲンボウ	7	6	1	0	2	16
40	スズメ	モズ	モズ	28	14	7	0	4	53

N0	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計	
41	スズメ	カラス	オナガ	93	55	115	235	326	824	
42			ハシボソガラス	183	78	256	185	140	842	
43			ハシブトガラス	217	145	97	223	464	1,146	
44		シジュウカラ	シジュウカラ	84	52	147	127	146	556	
45		ヒバリ	ヒバリ	37	7	2	0	0	46	
46		ツバメ	ツバメ	77	69	42	41	98	327	
47			イワツバメ	0	39	12	4	0	55	
48		ヒヨドリ	ヒヨドリ	405	360	392	720	865	2,742	
49		ウグイス	ウグイス	2	5	3	4	6	20	
50		メジロ	メジロ	119	78	54	139	178	568	
51		ヨシキリ	オオヨシキリ	28	14	1	0	0	43	
52		セッカ	セッカ	9	3	1	0	0	13	
53		ムクドリ	ムクドリ	2,120	1,612	1,058	809	1,928	7,527	
54			コムクドリ	0	0	0	0	9	9	
55		ヒタキ	シロハラ	0	0	2	1	5	8	
56			アカハラ	0	0	0	0	1	1	
57			ツグミ	260	179	66	53	72	630	
58			ジョウビタキ	16	4	2	11	9	42	
59			ノビタキ	1	0	0	0	0	1	
60			イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	2	
61			コサメビタキ	1	0	0	0	1	2	
62		スズメ	スズメ	3,936	1,738	1,358	2,831	4,310	14,173	
63		セキレイ	キセキレイ	0	0	2	0	0	2	
64			ハクセキレイ	168	126	59	42	72	467	
65			セグロセキレイ	0	10	0	2	0	12	
66			タヒバリ	45	20	0	0	0	65	
67		アトリ	カワラヒワ	640	316	113	64	125	1,258	
68			ベニマシコ	4	5	0	0	0	9	
69			シメ	13	0	5	0	6	24	
70		ホオジロ	ホオジロ	40	3	0	0	0	43	
71			カシラダカ	4	0	0	0	0	4	
72			アオジ	60	29	3	0	15	107	
73			オオジュリン	176	18	5	0	0	199	
種名特定できず			カモS P	0	0	0	1	0	1	
			ハクチョウS P	4	0	0	0	0	4	
			サギS P	0	0	0	1	0	1	
			シギS P	0	1	0	0	0	1	
			カモメS P	9	0	0	0	0	9	
			カラスS P	12	9	0	6	15	42	
確認種個体数合計（羽）				10,413	5,941	4,748	5,801	10,289	37,192	

資料4 平成26年5月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	1	3	2	1	0	6	0	1	7
2	アオジ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
3	イソシギ	3	4	0	0	0	7	0	0	7
4	イワツバメ	0	26	0	0	0	26	0	0	26
5	オオヨシキリ	21	6	1	0	0	27	1	0	28
6	オナガ	34	18	29	40	71	5	96	91	192
7	カイツブリ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
8	カルガモ	17	3	20	23	30	55	35	3	93
9	カワウ	16	29	3	4	16	60	2	6	68
10	カワラヒワ	20	30	4	7	6	29	12	26	67
11	キアシシギ	2	6	0	0	0	8	0	0	8
12	キジバト	18	7	14	13	34	8	34	43	85
13	コアジサシ	3	2	0	0	7	12	0	0	12
14	コゲラ	0	1	1	3	0	0	4	1	5
15	コサギ	1	3	0	0	2	6	0	0	6
16	コチドリ	1	1	0	0	2	2	2	0	4
17	シジュウカラ	10	5	10	8	15	1	23	24	48
18	スズメ	495	232	187	471	533	437	666	815	1,918
19	セッカ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
20	ダイサギ	0	2	1	1	2	5	1	0	6
21	チュウシャクシギ	0	7	0	0	0	7	0	0	7
22	チョウゲンボウ	1	0	0	0	1	1	0	1	2
23	ツグミ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
24	ツバメ	26	28	26	9	54	84	25	34	143
25	ハクセキレイ	11	15	3	1	2	28	2	2	32
26	ハシブトガラス	29	15	9	29	80	34	38	90	162
27	ハシボソガラス	26	17	44	34	17	41	64	33	138
28	バン	2	0	6	0	0	2	6	0	8
29	ヒバリ	14	2	2	0	0	18	0	0	18
30	ヒメアマツバメ	12	0	0	0	0	12	0	0	12
31	ヒヨドリ	9	10	22	23	25	14	40	35	89
32	ムクドリ	365	297	171	168	267	635	334	299	1,268
33	メジロ	0	0	0	12	0	0	1	11	12
34	メダイチドリ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
	合計	1,147	772	556	847	1,164	1,583	1,387	1,515	4,485
*	カラスSP	0	5	0	1	10	5	1	10	16
*	サギSP	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	総合計(羽)	1,147	777	556	849	1,174	1,588	1,388	1,526	4,502

資料5 平成26年7月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	3	5	0	2	6	16	0	0	16
2	イソシギ	4	1	0	0	0	5	0	0	5
3	イワツバメ	0	13	12	4	0	13	14	2	29
4	ウミネコ	1	2	0	0	1	4	0	0	4
5	オオバン	1	0	0	0	0	1	0	0	1
6	オオヨシキリ	7	6	0	0	0	13	0	0	13
7	オナガ	10	10	38	61	65	13	113	58	184
8	カルガモ	5	0	57	22	46	57	73	0	130
9	カワウ	5	27	0	0	13	41	0	4	45
10	カワセミ	0	0	0	1	1	1	1	0	2
11	カワラヒワ	17	4	10	6	23	14	30	16	60
12	キジバト	21	10	15	17	41	10	42	52	104
13	キセキレイ	0	0	2	0	0	0	0	2	2
14	ゴイサギ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
15	コサギ	0	0	1	0	2	3	0	0	3
16	コチドリ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
17	シジュウカラ	6	5	22	19	12	5	36	23	64
18	スズメ	529	214	129	416	676	347	727	890	1,964
19	セグロカモメ	0	0	0	2	0	0	1	1	2
20	セグロセキレイ	0	7	0	0	0	7	0	0	7
21	セッカ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
22	ダイサギ	1	4	0	0	0	5	0	0	5
23	チョウゲンボウ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
24	ツバメ	40	40	15	32	44	100	24	47	171
25	ハクセキレイ	15	9	1	1	6	25	3	4	32
26	ハシブトガラス	12	11	9	20	74	14	53	59	126
27	ハシボソガラス	37	8	37	29	12	47	43	33	123
28	バン	0	0	5	0	0	0	5	0	5
29	ヒバリ	10	0	0	0	0	10	0	0	10
30	ヒメアマツバメ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
31	ヒヨドリ	9	10	23	19	36	17	40	40	97
32	ホオジロ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
33	ムクドリ	511	163	164	118	472	638	635	155	1,428
34	モズ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	合計	1,252	549	541	769	1,531	1,414	1,842	1,386	4,642
*	カラスS P	0	0	0	0	4	0	0	4	4
	総合計（羽）	1,252	549	541	769	1,535	1,414	1,842	1,390	4,646

資料6 平成26年9月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	9	2	0	0	4	14	0	1	15
2	アカゲラ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
3	イソシギ	11	11	3	0	1	26	0	0	26
4	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
5	ウミネコ	24	19	1	0	4	48	0	0	48
6	オオセグロカモメ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
7	オナガ	19	11	15	24	52	11	43	67	121
8	カイツブリ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
9	カルガモ	11	3	56	23	10	65	38	0	103
10	カワウ	9	35	0	2	11	57	0	0	57
11	カワセミ	0	0	1	0	1	0	2	0	2
12	カワラヒワ	5	5	7	0	23	6	26	8	40
13	キジバト	16	10	18	22	30	8	37	51	96
14	コゲラ	0	0	1	3	1	0	4	1	5
15	コサギ	6	0	6	0	0	12	0	0	12
16	コサメビタキ	1	0	0	0	1	0	2	0	2
17	コムクドリ	0	0	0	0	9	0	6	3	9
18	シジュウカラ	15	5	23	35	35	10	36	67	113
19	スズメ	1,102	291	209	325	551	913	740	825	2,478
20	セグロセキレイ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
21	セッカ	3	1	0	0	0	4	0	0	4
22	ダイサギ	3	5	3	0	4	15	0	0	15
23	チョウゲンボウ	2	0	0	0	1	2	1	0	3
24	ツバメ	11	1	1	0	0	9	1	3	13
25	ノビタキ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
26	ハクセキレイ	10	13	1	2	4	20	3	7	30
27	ハシブトガラス	36	19	19	38	73	38	57	90	185
28	ハシボソガラス	26	10	31	27	10	42	38	24	104
29	バン	0	0	4	0	0	1	3	0	4
30	ヒドリガモ	0	0	6	0	0	0	6	0	6
31	ヒバリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
32	ヒヨドリ	17	17	25	43	28	25	63	42	130
33	ムクドリ	377	459	158	84	256	797	240	297	1,334
34	モズ	4	1	0	0	1	4	1	1	6
35	ユリカモメ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	総合計（羽）	1,725	919	589	628	1,110	2,136	1,348	1,487	4,971

資料7 平成26年11月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	5	0	1	5	16	0	0	16
2	アオジ	9	1	0	0	4	11	3	0	14
3	イソシギ	6	6	0	0	1	13	0	0	13
4	ウグイス	1	1	0	2	3	1	3	3	7
5	ウミネコ	3	3	0	0	0	6	0	0	6
6	オオジュリン	12	0	0	0	0	12	0	0	12
7	オオバン	16	7	29	0	7	49	10	0	59
8	オオヨシキリ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
9	オナガ	8	3	21	47	44	28	29	66	123
10	オナガガモ	0	0	14	0	74	0	88	0	88
11	カルガモ	13	0	40	44	21	85	33	0	118
12	カワウ	15	66	3	2	16	98	0	4	102
13	カワラヒワ	102	20	15	33	17	105	56	26	187
14	キジバト	6	2	27	16	30	16	45	20	81
15	コアジサシ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
16	コガモ	50	0	0	0	3	53	0	0	53
17	コゲラ	0	0	0	3	1	0	4	0	4
18	コサギ	1	2	1	0	0	4	0	0	4
19	シジュウカラ	12	11	45	23	33	3	49	72	124
20	シメ	10	0	0	0	0	10	0	0	10
21	ジョウビタキ	10	0	1	6	3	8	4	8	20
22	スズメ	584	368	312	515	655	583	792	1,059	2,434
23	セグロカモメ	5	0	1	0	1	7	0	0	7
24	セグロセキレイ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
25	セッカ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
26	ダイサギ	3	1	1	0	1	6	0	0	6
27	タヒバリ	17	13	0	0	0	30	0	0	30
28	チョウゲンボウ	1	3	0	0	0	3	0	1	4
29	ツグミ	19	3	2	5	2	21	5	5	31
30	ハクセキレイ	63	31	18	12	24	95	33	20	148
31	ハシビロガモ	0	0	1	0	1	1	1	0	2
32	ハシブトガラス	54	16	17	66	91	53	60	131	244
33	ハシボソガラス	29	11	63	35	25	29	67	67	163
34	ハヤブサ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
35	バン	0	0	2	0	0	0	2	0	2
36	ヒドリガモ	26	0	56	0	22	91	13	0	104
37	ヒメアマツバメ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
38	ヒヨドリ	192	126	132	305	346	174	484	443	1,101
39	ホオジロ	10	1	0	0	0	11	0	0	11
40	ムクドリ	231	126	271	122	266	240	350	426	1,016
41	メジロ	43	24	11	42	53	13	85	75	173
42	モズ	8	3	5	0	0	10	6	0	16
43	ユリカモメ	180	3	6	0	49	238	0	0	238
	合計	1,751	860	1,095	1,280	1,798	2,135	2,223	2,426	6,784
*	カモメSP	6	0	0	0	0	6	0	0	6
*	カラスSP	12	4	0	0	0	16	0	0	16
	総合計(羽)	1,769	864	1,095	1,280	1,798	2,157	2,223	2,426	6,806

資料 8 平成27年1月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	3	2	1	0	6	12	0	0	12
2	アオジ	25	11	0	0	5	37	4	0	41
3	アカハラ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
4	イソシギ	4	3	1	0	2	10	0	0	10
5	ウグイス	1	1	1	0	3	2	3	1	6
6	ウミネコ	4	4	0	0	2	10	0	0	10
7	オオジュリン	28	9	1	0	0	38	0	0	
8	オオタカ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
9	オオバン	79	23	46	0	40	178	10	0	188
10	オナガ	6	11	3	41	45	6	49	51	106
11	オナガガモ	2	0	16	0	158	2	174	0	176
12	カイツブリ	2	0	1	0	0	2	1	0	3
13	カシラダカ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
14	カルガモ	18	6	66	35	11	106	30	0	136
15	カワウ	115	118	6	5	67	284	4	23	311
16	カワセミ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
17	カワラヒワ	229	153	25	12	19	350	31	57	438
18	キジバト	25	19	40	14	29	17	60	50	127
19	キンクロハジロ	21	0	0	0	13	34	0	0	34
20	コガモ	29	19	30	0	0	78	0	0	78
21	コゲラ	1	0	0	0	2	0	3	0	3
22	コサギ	2	4	1	0	1	8	0	0	8
23	シジュウカラ	25	14	24	27	21	30	39	42	111
24	シメ	3	0	0	0	3	1	5	0	6
25	ジョウビタキ	4	4	1	5	2	7	3	6	16
26	シロハラ	0	0	0	0	4	0	4	0	4
27	スズメ	739	403	324	527	1,059	907	964	1,181	3,052
28	セグロカモメ	4	0	2	0	34	39	0	1	40
29	セグロセキレイ	0	2	0	1	0	2	1	0	3
30	セッカ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
31	ダイサギ	3	4	0	0	2	9	0	0	9
32	タヒバリ	18	7	0	0	0	25	0	0	25
33	チョウゲンボウ	2	1	0	0	0	3	0	0	3
34	ツグミ	91	65	21	21	32	146	59	25	230
35	トビ	1	1	0	0	0	1	0	1	2
36	ハクセキレイ	41	37	22	15	21	83	31	22	136
37	ハシビロガモ	0	0	9	0	1	10	0	0	10
38	ハシブトガラス	30	31	23	42	64	47	57	86	190
39	ハシボソガラス	26	17	41	22	42	46	51	51	148
40	バン	0	1	5	0	0	2	4	0	6
41	ヒドリガモ	41	21	69	0	64	169	26	0	195
42	ヒバリ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
43	ヒヨドリ	121	140	96	116	238	207	251	253	711
44	ベニマシコ	2	3	0	0	0	5	0	0	5
45	ホオジロ	19	0	0	0	0	19	0	0	19
46	ホシハジロ	6	0	0	0	1	7	0	0	7
47	マガモ	2	0	2	0	0	2	2	0	4
48	ムクドリ	383	245	172	149	341	685	301	304	1,290
49	メジロ	62	49	37	51	86	49	77	159	285
50	モズ	9	8	2	0	1	16	3	1	20
51	ユリカモメ	117	110	1	0	221	449	0	0	449
	合計	2,355	1,546	1,091	1,083	2,641	4,153	2,248	2,315	8,716
	*カモ S P	0	0	0	1	0	1	0	0	1
	*カモメ S P	3	0	0	0	0	3	0	0	3
	*カラス S P	0	0	0	5	1	0	5	1	6
	総合計 (羽)	2,358	1,546	1,091	1,089	2,642	4,157	2,253	2,316	8,726

資料9 平成27年3月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	5	3	3	0	1	11	1	0	12
2	アオジ	26	16	3	0	6	46	5	0	51
3	イソシギ	7	4	0	0	0	11	0	0	11
4	ウグイス	0	3	2	2	0	3	2	2	7
5	ウミネコ	3	2	0	0	0	5	0	0	5
6	オオジュリン	136	9	4	0	0	149	0	0	149
7	オオセグロカモメ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
8	オオバン	136	23	25	0	34	210	8	0	218
9	オナガ	16	2	9	22	49	0	49	49	98
10	オナガガモ	0	14	4	0	73	14	77	0	91
11	カイツブリ	0	0	1	1	0	1	1	0	2
12	カモメ	0	6	0	0	0	6	0	0	6
13	カルガモ	21	9	44	9	24	57	48	2	107
14	カワウ	46	77	2	9	25	151	3	5	159
15	カワセミ	0	0	0	0	2	0	2	0	2
16	カワラヒワ	267	104	52	6	37	369	90	7	466
17	カンムリカイツブリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
18	キジバト	17	17	17	18	53	21	54	47	122
19	キンクロハジロ	1	8	3	0	0	12	0	0	12
20	クイナ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
21	ゴイサギ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
22	コガモ	38	0	22	0	1	55	6	0	61
23	コゲラ	0	0	0	2	4	0	6	0	6
24	コサギ	0	2	1	1	0	4	0	0	4
25	コチドリ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
26	シジュウカラ	16	12	23	15	30	25	53	18	96
27	シメ	0	0	5	0	3	0	8	0	8
28	ジョウビタキ	2	0	0	0	4	2	2	2	6
29	シロハラ	0	0	2	1	1	0	4	0	4
30	スズメ	487	230	197	577	836	488	764	1,075	2,327
31	セグロカモメ	31	9	2	0	13	54	0	1	55
32	セッカ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
33	ダイサギ	3	0	1	0	0	4	0	0	4
34	タシギ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
35	タヒバリ	10	0	0	0	0	10	0	0	10
36	チョウゲンボウ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
37	ツグミ	146	111	43	27	38	248	98	19	365
38	ハクセキレイ	28	21	14	11	15	56	23	10	89
39	ハシビロガモ	0	0	2	0	0	2	0	0	2
40	ハシブトガラス	56	53	20	28	82	79	45	115	239
41	ハシボソガラス	39	15	40	38	34	53	65	48	166
42	ハヤブサ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
43	バン	0	1	9	0	0	2	8	0	10
44	ヒドリガモ	185	33	97	0	107	369	53	0	422
45	ヒバリ	5	5	0	0	0	10	0	0	10
46	ヒヨドリ	57	57	94	214	192	69	275	270	614
47	ベニマシコ	2	2	0	0	0	4	0	0	4
48	ホオジロ	10	2	0	0	0	12	0	0	12
49	ホシハジロ	26	1	1	0	0	27	1	0	28
50	ムクドリ	253	322	122	168	326	553	346	292	1,191
51	メジロ	14	5	6	34	39	9	46	43	98
52	モズ	6	2	0	0	2	9	1	0	10
53	ユリカモメ	51	99	6	3	1	158	2	0	160
	合計	2,158	1,284	876	1,186	2,032	3,384	2,146	2,006	7,536
	*ハクチョウSP	4	0	0	0	0	0	2	2	4
	*シギSP	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	総合計（羽）	2,162	1,284	876	1,186	2,032	3,384	2,148	2,008	7,541

資料10 年度別確認種及び個体数一覧

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
1	キジ	キジ	キジ	0	0	5	5	4	5	6	4	0
2			コジュケイ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0
4			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0
5			オシドリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6			オカヨシガモ	0	22	13	18	11	6	17	54	51
7			ヨシガモ	0	29	0	0	0	0	0	0	0
8			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568
9			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24
11			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077
12			ハシビロガモ	0	54	73	94	23	32	10	0	0
13			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608
14			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224
16			オオホシハジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
17			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340
18			アカハジロ	0	4	0	0	0	0	0	0	0
19			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150
20			スズガモ	0	0	2	0	0	0	0	0	2
*			カモH	0	0	0	0	0	1	0	0	1
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモS P	0	0	0	0	31	46	0	9	87
*			ハクチョウS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19
22			カンムリカイツブリ	0	0	0	2	1	0	0	0	1
23			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	ハト	ハト	キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065
25			シラコバト	0	0	3	0	0	1	0	0	0
26			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0
27	カツオドリ	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075
28	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	1	0	5	0	0	1
29			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34
30			ササゴイ	1	0	1	4	5	4	8	5	3
31			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32			アマサギ	0	0	0	0	1	0	0	0	7
33			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75
34			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78
35			チュウサギ	0	2	0	2	0	0	1	0	0
36			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120
*			サギS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38			バン	0	94	100	78	89	76	103	69	67
39			オオバン	0	1	8	6	0	4	6	3	9
40	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	0	0	0
41			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42			カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
*			カッコウS P	0	0	0	0	0	0	1	0	0
43	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44			ヒメアマツバメ	0	0	0	0	0	4	0	12	0
45	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47			イカルチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48			コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23
49			シロチドリ	0	0	7	1	0	4	0	0	0
50			メダイチドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0
51		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52		シギ	タンシギ	0	0	0	4	2	2	1	0	0
53			オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0
54			チュウシャクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
6	39	63	33	59	40	14	15	0	8	6	1	1	0	0
7	3	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	932	1,511	1,494	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301	727
9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
10	10	1	3	6	0	4	5	0	5	11	7	37	4	4
11	1,176	763	905	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677	687
12	11	2	18	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28	14
13	508	275	362	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380	355
14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
15	227	383	348	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176	192
16	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	177	176	208	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12	35
18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	85	94	89	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16	46
20	4	0	0	0	3	1	1	0	0	4	1	0	117	0
*	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0
*	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
*	6	1	2	2	0	1	5	0	2	2	1	0	0	1
*	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	4
21	4	12	6	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19	7
22	0	2	0	0	0	2	0	1	12	0	0	0	1	1
23	0	1	0	1	1	0	0	0	1	2		0	0	0
24	1,019	1,078	1,127	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628	615
25	0	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0
26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	1,325	1,716	1,679	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085	742
28	0	3	1	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
29	17	15	11	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8	3
30	1	4	10	2	14	5	2	0	2	1	0	0	0	0
31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
32	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
33	95	72	97	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100	78
34	62	57	73	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71	45
35	3	1	0	1	0	0	7	37	15	0			1	0
36	115	82	93	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63	37
*	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1
37	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1
38	59	54	115	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43	35
39	13	32	50	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229	466
40	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
41	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	0	0	0	0	23	8	22	0	11	0	15	6	0	20
45	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	4	2	0	0
48	11	15	8	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7	6
49	1	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17	27	1	18	6
51	0	0	0	0	1	3	3	0	2	0	0	0	15	0
52	0	0	2	0	0	0	1	0	3	4	18	10	7	6
53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54	0	0	0	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12
55	チドリ	シギ	タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0
56			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	0	3
57			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49
58			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0
59			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			シギS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60	チドリ	カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61			ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809
62			ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482
63			カモメ	0	26	13	28	4	53	6	8	12
64			シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	1
65			セグロカモメ	10	115	566	279	132	287	261	265	419
66			オオセグロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	1	3
67			コアジサシ	9	0	56	46	75	163	64	29	34
68			アジサシ	0	0	0	0	0	4	0	0	0
*			カモメS P	0	0	0	0	3	7	1	3	4
69	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70		タカ	トビ	0	2	2	0	0	0	0	4	1
71			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	2
*			タカS P	0	0	0	0	0	0	0	1	0
72	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
73			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0
74			コミミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0
75	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5
76	キツツキ	キツツキ	コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14
77			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44
79			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1
80	スズメ	モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45
81		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0
82			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557
83			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397
84			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910
*			カラスS P	0	0	0	0	1	10	10	39	10
85		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0
86		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0
87			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	0
88			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0
89			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121
90		ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180
91		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
92			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391
93			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79
94		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008
95		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37
*			ウグイスS P	0	0	0	0	0	0	0	0	0
96		エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
97		ムシクイ	メボソムシクイ	0	0	1	0	0	0	1	0	0
98			センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0
99		メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223
100		ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128
101			コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	1	1	0
102		セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104
103		レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0
104			ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0
105		ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566
106			コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	9	0
107		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7
108			アカハラ	0	0	6	1	2	1	1	0	4
109			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56	2	2	6	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8
57	51	39	57	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72
58	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
59	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1
60	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61	9, 297	7, 376	6, 200	7, 289	5, 450	5, 808	6, 789	4, 167	2, 899	3, 793	1, 448	1, 424	2, 010	848
62	610	319	577	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73
63	0	0	2	3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6
64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65	413	307	364	297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104
66	19	10	1	4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2
67	81	21	72	37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14
68	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	0	84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9
69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
70	1	2	2	3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2
71	0	1	2	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1
*	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0
72	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
74	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	8	6	3	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7
76	12	21	36	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23
77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
78	32	78	32	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16
79	0	0	4	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2
80	48	56	43	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53
81	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
82	545	630	662	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824
83	1, 456	1, 340	1, 229	1, 212	1, 441	998	1, 004	802	834	829	922	912	965	842
84	3, 899	3, 725	3, 936	3, 207	3, 282	2, 698	2, 659	1, 903	1, 702	1, 642	1, 707	1, 223	1, 203	1, 146
*	0	0	0	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42
85	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
86	0	0	0	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0
87	0	0	4	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
88	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0
89	230	179	303	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556
90	193	197	134	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46
91	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
92	711	492	713	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327
93	44	25	33	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55
94	3, 245	3, 213	3, 435	2, 646	2, 863	3, 415	2, 665	3, 058	2, 285	2, 178	2, 118	2, 597	2, 173	2, 742
95	51	47	48	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24	20
*	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
96	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	26	0
97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
98	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
99	436	545	311	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375	568
100	97	104	80	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29	43
101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
102	90	57	53	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10	13
103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
104	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
105	6, 728	6, 913	7, 024	5, 967	6, 658	7, 223	6, 748	6, 680	6, 459	5, 781	6, 902	7, 823	7, 156	7, 527
106	71	0	70	38	6	30	24	31	18	13	38	3	0	9
107	7	7	1	12	0	16	3	9	11	6	2	14	1	8
108	4	4	5	6	0	9	6	6	6	3	0	7	1	1
109	599	889	617	844	588	767	618	1, 190	669	1, 343	716	875	459	630

No	目 名	科 名	種 名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	
110	スズメ	ヒタキ	ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
111			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45	
112			ノビタキ	0	0	1	2	2	5	0	0	0	
113			サバクヒタキ	0	0	0	2	0	3	0	0	0	
114			イソヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
115			エゾビタキ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
116			サメビタキ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
117			コサメビタキ	1	0	0	9	1	1	0	2	1	
118			キビタキ	1	2	1	1	3	1	0	5	0	
119			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
120			オオルリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
*			ヒタキSP	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
121			スズメ	ニュウナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122				スズメ	3, 287	7, 756	10, 129	12, 217	11, 639	14, 300	12, 487	15, 329	18, 003
123		セキレイ	キセキレイ	0	1	0	2	0	0	0	0	0	
124			ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708	
125			セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	0	
126			ビンズイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
127			タヒバリ	0	1	39	40	52	30	5	1	10	
128		アトリ	アトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
129			カワラヒワ	256	552	566	455	822	506	429	463	554	
130			マヒワ	0	0	2	0	184	0	0	0	2	
131			ベニマシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
132			ウソ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
133			シメ	0	3	7	0	6	6	9	13	2	
134			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
135		ホオジロ	ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57	41	66	
136			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
137			キマユホオジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
138			カシラダカ	0	0	22	0	0	9	2	1	5	
139			アオジ	0	0	66	60	128	75	111	114	106	
140			クロジ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
141			シベリアジュリン	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
142			オオジュリン	2	49	42	106	167	86	164	54	127	
総 合 計 (羽)				10, 613	23, 007	30, 765	36, 999	35, 359	41, 760	36, 824	42, 110	51, 557	

※種名にSPとあるものは、種名まで確認できなかったもの

※種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)、特定の種の特徴が強く表れているものはその種名の後にHをつけている

No	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
110	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
111	67	90	90	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41	42
112	0	0	2	0	0	1	1	5	0	1	9	1	0	1
113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
114	0	0	0	0	1	0	5	1	5	3	2	4	2	2
115	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
116	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
117	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2
118	2	0	1	1	1	0	1	2	3	0	2	0	0	0
119	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
121	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122	18, 171	18, 821	15, 919	15, 258	15, 573	14, 844	15, 073	14, 726	13, 913	14, 747	14, 010	14, 028	13, 580	14, 173
123	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
124	678	755	591	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439	467
125	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	13	0	12
126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
127	14	5	13	90	66	62	77	109	73	106	69	133	41	65
128	0	3	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0
129	748	907	838	619	496	851	722	734	646	687	596	693	529	1, 258
130	0	12	0	0	0	0	0	0	0	3	0	24	0	0
131	0	3	3	4	0	1	0	0	2	0	0	4	0	9
132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
133	21	9	18	10	1	3	6	19	7	14	1	23	1	24
134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
135	62	99	38	37	24	35	35	33	29	17	25	49	17	43
136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
137	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
138	3	1	3	2	9	0	0	1	0	11	3	2	0	4
139	175	160	161	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46	107
140	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
141	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
142	297	190	310	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122	199
計	55, 212	54, 091	50, 794	46, 997	46, 946	46, 911	47, 472	43, 141	39, 492	41, 513	36, 862	38, 584	36, 776	37, 192

※参考

《野鳥モニター人数・調査地域数（平成4年度～平成26年度）》

年度（平成）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34	36	38	36	40	40	38
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39	39	41	41	41	40	40

資料11 平成26年度 野鳥モニター活動記録

- 4月 野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
- 4月28日（月）野鳥モニター基礎研修会
- 5月 野鳥生息調査（1回目）
- 7月10日（木）野鳥モニター調査報告会（25年度調査分）
- 7月 野鳥生息調査（2回目）
- 9月 野鳥生息調査（3回目）
- 11月 野鳥生息調査（4回目）
- 12月21日（日）野鳥モニター研修会（渡良瀬遊水地）
- 1月 野鳥生息調査（5回目）
- 3月 野鳥生息調査（6回目）



基礎研修会



基礎研修会



研修会



研修会

平成 2 7 年 8 月発行

発 行 足立区

編 集 足立区環境部環境政策課環境事業係
東京都足立区中央本町一丁目 1 7 番 1 号
電話 0 3 - 3 8 8 0 - 5 8 6 0